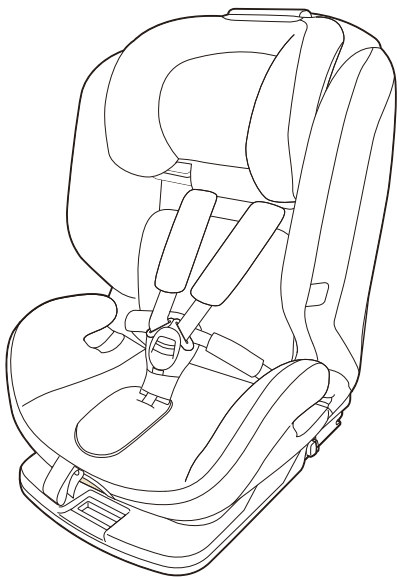


nuna®



NUNA i-size 対応チャイルドシート myti

取扱説明書 / 保証書



myti™

Nuna を お選びいただき ありがとうございます！

本製品は、「i-Size」（インテグラル・ユニバーサル ISOFIX チャイルドレストレイントシステム）に対応したチャイルドシートです。自動車の取扱説明書において、「i-Size」に対応する、と指示されている座席に取り付けて使用することができます。

ただし、自動車の取扱説明書において、「i-Size」に対応すると表記されていない場合でも、取り付け可能な場合があります。

自動車のメーカーの Web サイトを参照するか、自動車をお買い求めになったディーラー（販売店）にご相談ください。

また、お子さまの身長が 100cm を超え体重が 15kg 以上になったら、自動車の 3 点式シートベルトおよびトップテザーベルトの取り付けのみで使用することも可能ですが、自動車の座席が「i-Size」に対応している場合は、より安全にご使用いただくため、汎用 ISOFIX 固定装置を使用するようにしてください。

本製品やチャイルドシートに関するご質問やご意見がございましたら、nuna のウェブサイト（nuna.eu）からお願いします（※現在、日本語のサイトはありません）。



もくじ

必ずお読みください		ハーネスモードでのお子さまの乗せかた	45
ユーザー登録のお願い	4	自動車の座席から取り外す	49
チャイルドシートについて	5	シートベルトモードでの使用	52
自動車との適合について	5	ソフトパッドの取り外し	53
表記の説明	6	ハーネスの格納	53
本取扱説明書で使用するイラストについて	6	自動車の座席への取り付け	59
その他の表記について	6	シートベルトモードでのお子さまの乗せかた	70
本製品の情報	6	自動車の座席から取り外す	75
使用可能なお子さまの範囲	7	お手入れのしかた	76
ソフトパッドの使用	8	パッド・カバー類の取り外し	76
自動車の座席への取り付けに関して	9	パッド・カバー類のお手入れ	80
取り付け、使用可能な座席の位置と向き	9	樹脂・金属・ベルト類のお手入れ	81
本製品を取り付けできない座席	10	ISOFIX コネクター・テザーフックのお手入れ	82
内容物の確認	12	ハーネス・バックルのお手入れ	82
各部の名称	13	保管のしかた	84
本製品の各部の名称	13	廃棄のしかた	84
自動車の各部の名称	14	保証について	84
取扱説明書ホルダー	14	保証書	
使用上の注意	15		
緊急時の操作	23		
基本的な使いかた	24		
バックルの使いかた	24		
ハーネスの長さ調節	26		
ヘッドレスト・肩ベルトの高さ調節	27		
リクライニングの調節	30		
ソフトパッドの使いかた	31		
トップテザーの取り付け・取り外し（共通操作）	33		
取り付けかた	33		
取り外しかた	36		
ハーネスモードでの使用	38		
自動車の座席への取り付け	38		

必ずお読みください

本製品は、自動車の座席に取り付けてチャイルドシートとしてご使用いただくことができます。

本製品は、欧州基準に適合するチャイルドシートですが、使用方法を誤ると、所定の安全性能を発揮できないばかりか、お子さまのみならず他の乗員の方や保護者の方の安全にも重大な影響をおよぼすおそれがあります。

安全に本製品をご使用いただくため、あらかじめ本取扱説明書を熟読し、内容を十分にご理解した上で本製品をご使用ください。

本取扱説明書は、本製品の所定の場所に格納して大切に保管し、必要なときにいつでも取り出して参照できるようにしておいてください。

ユーザー登録のお願い

チャイルドシートをご使用いただくにあたって、国土交通省推奨によるユーザー登録へのご協力をお願いいたしております。本製品は、日本国内で使用を認められている欧州のチャイルドシート基準である ECE 基準に適合しております。本製品は、当該基準に適合するよう万全の注意をもって製造されていますが、万が一基準に適さない製品が発生し、かつその製品が出荷されてしまった場合、直ちにその製品を入手されたお客様にご連絡を差し上げ、対象となった製品を修理する必要があります。

このような場合に、迅速にお客様に情報をお伝えし適切に対応できるよう、お客様にはユーザー登録をお願いいたしております。

お預かりしたお客様の個人情報、弊社が管理し、お客様の承諾を得ない限り、この緊急の連絡の目的にのみ利用させていただきます。

モデルナンバー：_____

製造日：_____

この欄に、お買い求めいただいた本製品の情報をご記入ください。

モデルナンバー (Model Number)、製造日 (Manufactured in (date)) は、本製品の底面に貼られているシールに記載されています。

チャイルドシートについて

チャイルドシートは、万が一の交通事故の際や自動車の急制動（急発進・急停止・急なハンドル操作など）によって生じる、お子さまへの負担や衝撃を軽減することを目的としており、お子さまを交通事故や急制動により生じる負担や衝撃から無傷で守る事を保証する製品ではありません。

また、チャイルドシートが正しく取り付けられていなかったり、お子さまがチャイルドシートに正しく固定されていなかったり、お子さまの体重や体格に適さない状態でチャイルドシートを使用したりすると、交通事故や急制動時に本製品が所定の性能を発揮できないばかりか、本製品が動くなどして、お子さまの安全のみならず、他の同乗者の安全にも重大な影響をおよぼすおそれがあります。

本製品を使用するにあたっては、本取扱説明書の記載内容および本製品本体の表記に従って、常に正しくご使用ください。

また、どれほど短い距離、どれほど短時間のドライブであろうとも事故は発生します。またこのような日常の使用において多くの事故が実際に発生しています。本製品を常に正しくご使用いただくとともに、慎重で安全な運転を心がけるようにしてください。

自動車との適合について

以下のホームページに掲載の適合車種一覧においては、本製品が取り付けられる可能性のある汎用 ISO-FIX 固定装置を装備した車両の情報が記載されています。

<http://www.katoji.co.jp/>

表記の説明

本取扱説明書では、本製品を使用するにあたって特にご注意・留意いただく事項を「危険」「警告」「注意」に区分し、強調して表記しております。

この表記に付随して記載されている内容を見落とすと、本製品をご使用になるお子さまや保護者の方、また、周りにいる方や物品に損害をおよぼすおそれがありますので、必ずこれらの内容を十分に理解した上でご使用ください。



この表示に付随して記載されている内容を守らなければ、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じることを示します。



この表示に付随して記載されている内容を守らなければ、死亡または重傷に至ることがあり得ることを示します。



この表示に付随して記載されている内容を守らなければ、軽傷または中程度の傷害を負ったり、本製品またはその他の物品に損害をあたえたりすることがあり得ることを示します。



この表示に付随して記載されている事柄は正しい状態にあることを示します。



この印に付随して記載されている事柄は、誤った状態にあること、または禁止されている状態にあることを示します。

本取扱説明書で使用するイラストについて

本取扱説明書で使用しているイラストは、より理解しやすくするために、大きさの比率の変更、強調、誇張等をおこなっており、実際とは異なる部分があります。あらかじめご了承ください。

その他の表記について



「ポイント」と表記された枠に記載されている事項は、本製品をご使用いただくにあたって知っておいていただきたいこと、また、本製品をより便利に使用していただくための大切な情報です。

本製品の情報

本製品は、ECE No.129/02、i-Size 規格に対応したチャイルドシートです。自動車の取扱説明書において、「i-Size 対応」と指示された座席に取り付けて使用することができます。

本製品は、ECE No.129/02、i-Size 規格に対応したブースターシートです。自動車の取扱説明書において、「i-Size 対応」と指示された座席に取り付けて使用することができます。

本製品の ISOFIX サイズは、ISO/F2x、ISO/B2、ISO/B3 です。

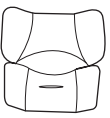
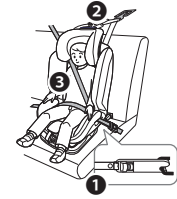
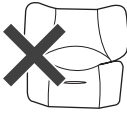
疑問がある場合には、チャイルドシートの製造業者または、取扱販売店にお問い合わせください。

使用可能なお子さまの範囲

本製品は、日本国内で使用を認められている欧州のチャイルドシート基準である ECE No.129/02 に適合しており、生後 15 ヶ月かつ身長 76cm ～ 150cm まで、かつ体重 9kg ～ 36kg までのお子さまにご使用いただけます。

使用可能なお子さまの範囲に満たない、または超えたお子さまは使用できません。

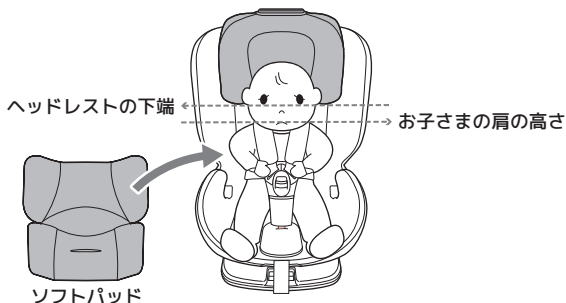
お子さまの身長と体重によって本製品の使用方法が異なります。間違った使用方法では本製品が所定の安全性能を発揮しませんので、以下を参照して必ず正しくお使いください。

身長・体重 (参考年齢)	使用方法		
	取り付け/装着		ソフトパッドなど
ハーネスモード 76cm-105cm かつ 9kg-19.5kg 15 ヶ月から 4 歳頃		① ISOFIX ② トップテザー ③ ハーネス	 お子さまの肩の位置がヘッドレストの下端よりも低くなる場合は、必ずソフトパッドを使用してください。
シートベルトモード 100cm-150cm かつ 15kg-36kg 3 歳頃から 12 歳頃		① ISOFIX ② トップテザー ③ 3 点式シートベルト	
		① トップテザー ② 3 点式シートベルト	 ソフトパッド、ハーネスは使用しないでください。

ソフトパッドの使用

本製品は、15 カ月から 12 歳頃までの長期間にわたり使用できるチャイルドシートです。このため、より月齢の低いお子さま(4 歳頃まで)が適切な状態で使用できるよう、ハーネスモードでご使用いただく、ソフトパッドが付属しています。

お子さまの身長が低い間、ソフトパッドを取り外すと、本製品のヘッドレストを最も低い位置に調節してもお子さまの肩がヘッドレストの下端よりも低い位置になる間は必ずソフトパッドを使用してください。



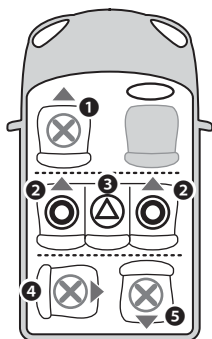
参照 P31-32 >ソフトパッドの使いかた

自動車の座席への取り付けに関して

取り付け、使用可能な座席の位置と向き

- ① 助手席 取付使用不可
- ② 後列左右ドア側席 . . . 取付使用可能
- ③ 後列中央席 取付使用可能（条件付き）
- ④ 進行方向横向きの座席 . . 取付使用不可
- ⑤ 進行方向後ろ向きの座席 . 取付使用不可

後列中央座席には汎用 ISOFIX 固定装置が装備されていない場合が殆どですが、一部車種において汎用 ISOFIX 固定装置が装備されている場合、取付使用が可能です。



上記の座席（シート）すべてに取り付け、使用可能とは限りません。

上記は、座席の位置と向きについて使用の可否を記載したものです。この位置と向きであり、かつその他の条件を満たした座席にのみ取り付けが可能です。

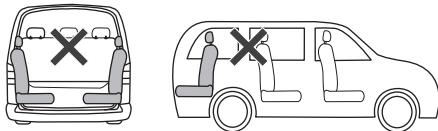
本製品を取り付けできない座席

本製品は、全ての自動車、全ての座席（シート）で使用できるものではありません。本製品を取り付けて使用できる自動車、座席の情報については、お車の取扱説明書と適合車種一覧を参照してください。

⚠ 危険 以下に示す座席では絶対に使用しないでください。この指示を守らないと、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じます。

進行方向に対して前向き以外の座席

本製品は、本製品を前向きにして車の進行方向に向かって前向きの座席にのみ取り付け使用することができます。車の進行方向に向かって後ろ向きや横向きの座席では使用できません。また、車の進行方向に向かって前向きでも、補助席などの特別な座席、バス、電車、飛行機、船などの座席でも使用できません。



助手席

当社では助手席での使用は推奨しておりません。事故や衝撃を受けた際にダッシュボードにぶつかったりするほか、運転に支障をおよぼすおそれもありますので、より安全な後部座席に取り付けて使用してください。

本製品を安定して設置できない座席

レーシング用のバケットシートなどの極端な凸凹がある座席、幅や奥行きが極端に狭い座席、本製品を取り付けるとドアやコンソールなど座席以外の構造物に本製品が接触する座席では、本製品が安定しないため取り付けることができません。取り付け作業中に、安定性に不安を感じた場合は、その座席には取り付けないようにしてください。

また、適合車種でも限定モデルや中古車の場合には、特殊な座席が付いていたり、座席そのものが交換されているなどする場合もあります。これらの場合、本製品が安定して設置できないこともありますのでご注意ください。

汎用 ISOFIX 固定装置が装備されていない座席

チャイルドシートの機種が指定されている ISOFIX 固定装置（スペシフィックヴィークル）では ISOFIX による取り付け使用できません。本製品を汎用 ISOFIX 固定装置が装備された座席でのみ使用可能です。本製品の使用方法において、ISOFIX コネクターを使用しない方法がありますが、この場合も汎用 ISOFIX 固定装置に付随するトップテザーによる固定が必要ですので、本製品の使用にあたっては、汎用 ISOFIX 固定装置を装備した座席のみで使用可能です。

乗員の脱出に影響を与える座席

片開きドアのワンボックスカーのドア側の座席など、本製品を使用することにより、他の乗員が緊急時に自動車から脱出しにくくなるおそれがある座席では使用しないでください。

実際に本製品を使用する前に、あらかじめ緊急時を想定して、取り付けようとする座席の上に本製品を置き、その状態で、すべての座席から、他の乗員が容易に乗降できるかどうか、また、緊急時にお子さまを迅速に脱出させることができるかを、あらかじめ確認してください。

座席やドアに干渉する座席

座席の可動部分や、座席の移動、ドアの開閉に干渉する座席には取り付けしないでください。

⚠ 危険 以下に示す座席では絶対に使用しないでください。この指示を守らないと、死亡または重傷に及ぶ切迫した事態が生じます。

本製品を使用することによって運転、操作に支障をきたす座席

本製品を使用すると、ドアミラーが見えにくくなる、サイドブレーキやシフトレバー、ハンドル、ウインカーなどの操作に影響を与え、自動車の安全な運転に支障をきたすおそれのある座席では使用できません。

パッシブシートベルトの装備された座席

ドアを閉めると自動的にシートベルトが装着される、パッシブシートベルトの座席では、本製品を使用できません。

自動車のドアや可動シートの操作に干渉する座席

本製品を取り付けると、自動車のドアの開閉などの操作に干渉したり、シートの前後移動操作に干渉する座席には取り付けしないでください。また、本製品を正しく取り付けした後で自動車のシートの背もたれやシートの前後移動の操作をしないでください。

その他、取り付けられない座席

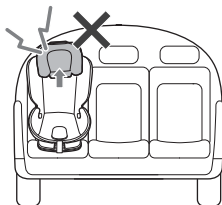
本製品は、中央座席ではご使用いただけません。また、座席の形状やサイズ、自動車の座席構造物、自動車のシートベルトやバックルの形状などが影響し、本取扱説明書にしたがっても、お子さまを正しく拘束できない、しっかりと固定できない、安定しない座席では使用できません。

また、自動車が i-Size に適合していたとしても、その自動車のすべての座席で使用できるとは限りません。

天井に干渉する場合

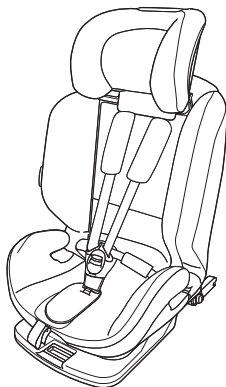
お子さまの身長が 135cm 以上の場合、本製品のヘッドレストを適切に調節すると、一部のスポーツタイプの車両などの左右の座席において、ヘッドレストが天井に干渉する場合があります。このような座席では使用しないでください。

汎用 ISOFIX 固定装置が装備されている場合、中央席に取り付けて使用してください。



内容物の確認

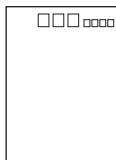
本製品には、次のものが同梱されています。すべてのものが揃っていることを確認してください。万が一、足りないもの、破損しているものがある場合、そのままご使用にはならず、大変お手数ですが、巻末に記載のお客サービスまでご連絡ください。



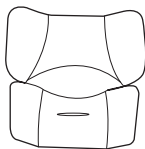
本体



本書



ユーザー登録はがき



ソフトパッド

※ご購入時、本体に取り付けられています



ISO-FIX ガイド

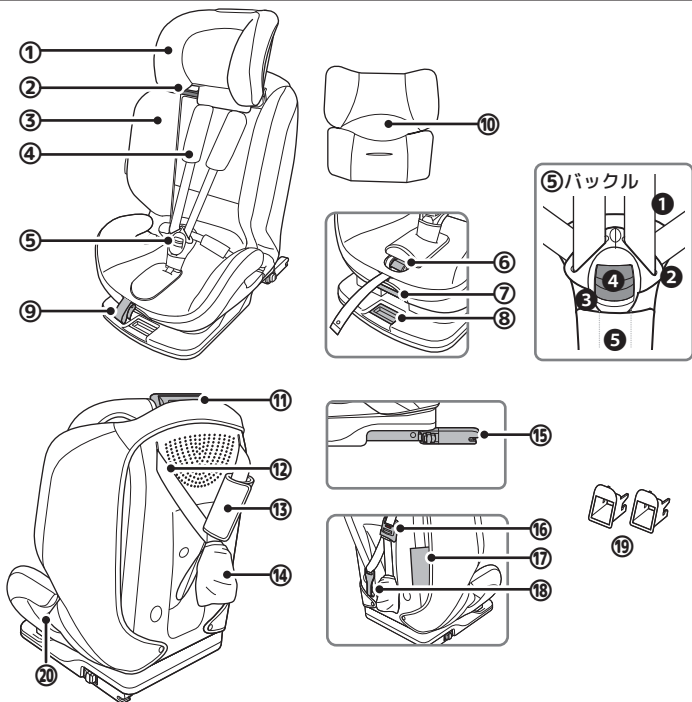


注意

本製品が入っていたビニール袋等の梱包材は、本製品開梱後、直ちにお子さまの手の届かない場所に廃棄してください。

各部の名称

本製品の各部の名称



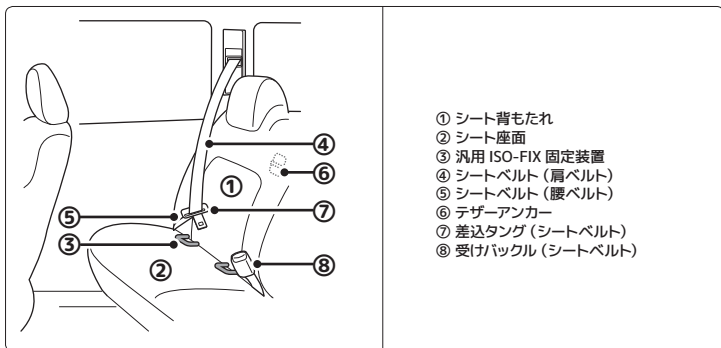
- ① ヘッドレスト
- ② 肩ベルトガイド
- ③ バックサポート
- ④ 肩ベルトパッド
- ⑤ バックル※
- ⑥ アジャスターボタン (座面部の下)
- ⑦ リクライニングレバー
- ⑧ ISOFIX コネクターレバー
- ⑨ アジャスターベルト
- ⑩ ソフトパッド

- ⑪ ヘッドレストアジャストレバー
- ⑫ トップテザーベルト
- ⑬ テザー保護カバー
- ⑭ ベルトポケット
- ⑮ ISOFIX コネクター
- ⑯ テザーベルトアジャスター
- ⑰ 取扱説明書ホルダー
- ⑱ テザーフック
- ⑲ ISO-FIX ガイド
- ⑳ ベルトパス

- ⑤ バックル※
- ① ハーネス
- ② 差込タンク
- ③ 受(ガ)バックル
- ④ バックルボタン
- ⑤ 股ベルトパッド/股ベルト

自動車の各部の名称

本取扱説明書においては、本製品を取り付ける自動車の座席の部位、部品に関して言及している箇所があります。本取扱説明書において、自動車の部位、部品については以下の通りの名称を用います。

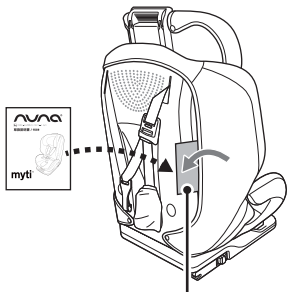


ポイント 自動車の取扱説明書においては、別の名称にて記載されている場合があります。必要に応じて、上図を参照し、自動車の取扱説明書の表記と照合するようにしてください。

取扱説明書ホルダー

安全に本製品をご使用いただくため、あらかじめ本取扱説明書を熟読し、内容を十分にご理解した上で本製品をご使用ください。本取扱説明書は、本体側面、シートカバー内側にある取扱説明書ホルダーに大切に保管し、必要なときにいつでも取り出して参照できるようにしておいてください。

ポイント 取扱説明書ホルダーは、シートカバーの内側に折りたたまれて収納されています。取扱説明書をホルダーに差し入れて、シートカバーの内側に折りたたんで収納してください。



取扱説明書ホルダー

使用上の注意

本製品の誤った使用は、所定の機能を発揮できないばかりか、お子さまのみならず他の乗員の方にも思わぬ危険をおよぼすおそれがあります。ここでは、本製品をお使いいただくにあたって、注意していただきたい重要な事柄や、「してはならない」重要な禁止事項について説明しております。

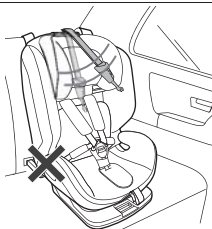


危険 以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じることを示します。

正しく自動車の座席に固定して使用すること

本取扱説明書および本製品の本体に記載されている指示、ならびに本製品を取り付ける自動車の取扱説明書の指示に従って、正しく自動車の座席（シート）に固定し、使用してください。

本製品は、トップテザーベルトを自動車のテザーアンカーに取り付けて、きつく締めるようにして固定します。正しく固定されていないと、事故や急ブレーキ、急ターンなど衝撃を受けた際に本製品が所定の安全性能を発揮できず、思わぬ事故につながるおそれがあります。



使用可能な範囲を守ること

本製品は、欧州のチャイルドシート基準（ECE R129/00）に適合するチャイルドシートです。この基準により、使用できる条件と本製品の取り付け、使用方法とそれに応じた使用可能なお子さまの身長が定められています。使用条件を守らないと、本製品が所定の安全性能を発揮できず、思わぬ事故につながるおそれがあります。

本製品は、生後 15 か月かつ身長 76 cm 以上かつ体重 9kg を超えるまでは使用しないでください。



本製品の固定に必要なベルト類をきつく締め付けること

本製品は、トップテザーベルトにより自動車の座席に強く（きつく）固定してください。トップテザーベルトが緩んでいると、事故や衝撃を受けた際に本製品が所定の安全性能を発揮できず、思わぬ事故につながるおそれがあります。



指定する方法以外での取り付けをしないこと

本製品は、本書の指示に従って正しく取り付けてください。ひもや、帯状のもの、布、梱包用ベルト、テープなどで本製品を固定してはいけません。また、本製品を正しく取り付けた上に、これらのもので補強してもいけません。これらのものが、お子さまの首や身体に引っかかるなどして重大な事故につながるおそれがあります。



危険 以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じることを示します。

ハーネス・股ベルト、3点式シートベルトをねじらないようにしてゆるみなく装着すること

ハーネスや股ベルト、または本書の指示に従い3点式シートベルトを使用している場合にはシートベルトの肩ベルト・腰ベルトに、ねじれやゆるみがあると本製品が所定の安全性能を発揮できず、思わぬ事故につながるおそれがあります。ハーネスおよびベルト類にねじれやゆるみがないようにして、適切にお子さまを拘束してください。



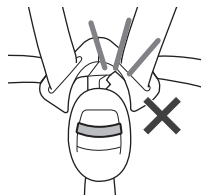
ハーネス、3点式シートベルトを常に正しく装着すること

ハーネスの腰部分、または本書の指示に従い3点式シートベルトを使用している場合にはシートベルトの腰ベルトが、お子さまの骨盤の上を通るように調節して使用してください。適宜、ハーネスやシートベルトの状態を確認して、正しい状態になっていることを確認してください。本製品にお子さまが乗る場合は、いかなる場合もハーネス、シートベルトを正しく装着してください。



バックルに異常が生じた場合、本製品を使用しないこと

バックルが正しく留まらない、ハーネスに損傷がある、ハーネスを締め付けることができない場合は、ただちに使用を中止してください。本書の指示に従い3点式シートベルトを使用している場合でも、本製品に異常が発生している場合がありますので、このような場合は使用しないようにしてください。



シートベルト（自動車のバックル）に異常が生じた場合、本製品を使用しないこと

本書の指示に従い3点式シートベルトを使用している場合、自動車のシートベルトのバックルが正しく留まらない、シートベルトに損傷がある、シートベルトを締め付けることができない場合は、ただちに使用を中止してください。

ハーネス・シートベルトの状態を適宜確認すること

お子さまが激しく身体を動かしたり、ハーネスやシートベルトに触れたりすると、お子さまが正しくチャイルドシートに固定されなくなるおそれがあります。お子さまには、バックルには触れないように言い聞かせ、適宜、ハーネスやシートベルトが正しく装着されているか確認してください。

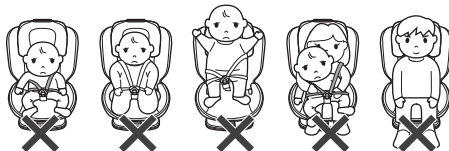


**危険**

以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じることを示します。

お子さまを正しく拘束して使用すること

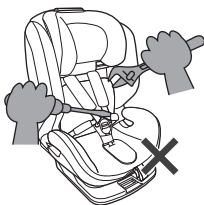
本取扱説明書の記載に従い、本製品を正しく調節して、正しくお子さまを拘束してください。規定された条件に適さないお子さまに使用したり、ハーネスやシートベルトを間違えて使用したり、お子さまを立たせたり、正座、中腰の体勢で使用したり、複数のお子さまを座らせたりしてはいけません。



分解、改造、修理をしないこと

チャイルドシートが所定の安全性能を発揮できなくなるおそれがあります。本製品の分解、改造、修理をしてはいけません。また、指定外の部品への交換、同梱されていないアクセサリや部品を取り付けて使用しないでください。

本製品の補修、部品交換、メインテナンスに関しては、本製品をお買い求めになった販売店か、本書巻末の保証書欄に記載のお客様サービスまでお問い合わせください。



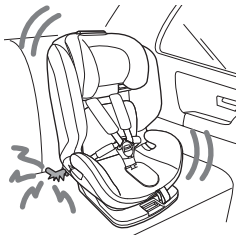
前向き以外で自動車のシートに取り付け、使用をしないこと

本製品は、自動車の進行方向に対して前向きの座席に、前向きにして取り付けて使用します。横向きや、後ろ向きなど、前向き以外の向きにして使用することはできません。



本製品の取り付けに関わる部位、部品に異常が認められる場合、絶対に使用しないこと

交通事故や急制動の際に本製品が外れ、重大な事故につながるおそれがあります。自動車の汎用 ISOFIX 固定装置やシートベルト、本製品の ISOFIX コネクター、トップテザー、テザーフック、に異常が認められる場合は、絶対に使用しないでください。

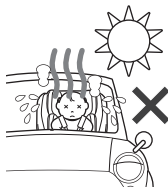




危険 以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じることを示します。

お子さまを車内に放置しないこと

いかなる場合でも、お子さまを自動車の中に放置してはいけません。日差しにより自動車内の温度が高くなり、熱中症・脱水症状になるおそれがあります。また、日差しのない時でも、チャイルドシートから抜け出そうとしてケガをしたり、誤って自動車の操作をしたりするなどして、重大な事故につながるおそれがあります。



警告 以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る可能性があります。

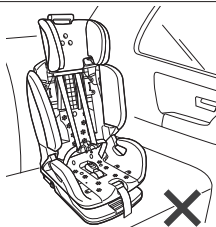
衝撃を受けた場合、損傷した場合は使用を中止すること

交通事故にあった、落下させた、車のドアで強くはさんだ、など、一度でも衝撃を受けた場合や本製品に破損箇所がある場合は、使用してはいけません。それが軽微な事故にあった等の事由でも、目には見えない損傷によって、本製品が安全に機能しなくなっている可能性があります。



部品を取り外して使用しないこと

チャイルドシートが所定の安全性能を発揮できなくなりますので、本書において指示がない限りは、本製品のいかなる部品も取り外した状態で使用してはいけません。チャイルドシートのカバーやウレタン、衝撃吸収材も安全に関わる重要な部品ですので、決して取り外して使用しないでください。また、同様に本製品に貼られているラベルやシールも安全に関わる重要な部品ですので、決してはがさないでください。また、当社が指定しない部品への交換、部品の追加をしてはいけません。



指定のソフトパッド、カバー類以外のものを使用しないこと

本製品のソフトパッド、カバー類はすべて本製品を構成する重要な安全部品であり、それらを取り付けた状態で基準に適合しています。

当社が指定するソフトパッド、カバー類以外のものを取り付けて使用したり、新たに追加して使用したりしてはいけません。

中古品を使用しないこと

中古品は、過去の履歴や保管状況、使用状況、使用期間が不明なため使用してはいけません。

安全のため、使用しなくなった本製品は、再利用されないよう配慮いただき、廃棄するようお願いいたします。

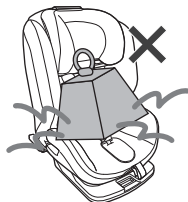
購入後 5 年を経過した本製品は使用しないこと

購入後 5 年以上経過した本製品を使用しないでください。経年や日光の影響により部品が劣化するなどして、事故や衝撃を受けた際に本製品が安全に性能しなくなっているおそれがあります。

⚠警告 以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る可能性があります。

過度の負担を掛けないこと

本製品が損傷し、所定の安全性能を発揮できなくなるおそれがありますので、本製品の上に重いものを載せたり、自動車のドアや自動車座席のリクライニングで強くはさむなどしたりしないでください。本製品が損傷した場合は使用しないでください。



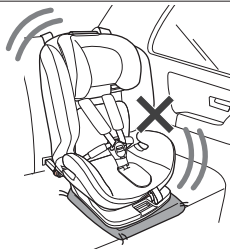
本製品の固定に関わる部位、部品は常に清潔にしておくこと

自動車の汎用 ISOFIX 固定装置やテザーアンカー、本製品の ISOFIX コネクター、ISO-FIX ガイド、テザーフックは常に清潔を保つようにして、必要に応じてお手入れするようにしてください。これらに汚れやほこり、食べ物カスなどのゴミが付着していると、本製品の安全性能に影響をおよぼすおそれがあります。また、これらの部位、部品のお手入れには絶対に潤滑性のある洗浄剤や油などを使用してはいけません。



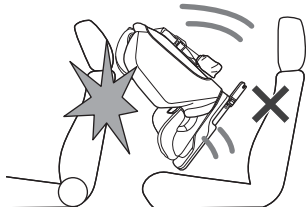
本製品の下にクッションや敷物などを敷かないこと

本製品と座席の間に、座布団やクッションなどの敷物を置かないこと。本製品が所定の安全性能を発揮できなくなるおそれがあります。本製品を正しく取り付けた際に、自動車のシートにくぼみや傷が生じる可能性があります。あらかじめご了承ください。



使用しない場合でも、車内では本製品を必ず固定しておくこと

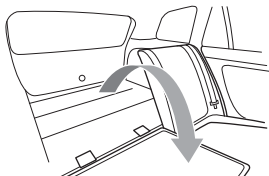
お子さまが使用しない場合でも、自動車に本製品を乗せる際には、本取扱説明書の指示に従い、自動車の座席に正しく固定しておいてください。正しく固定されていないと、交通事故や急制動の際に本製品が移動し、運転操作の邪魔になったり、他の同乗者にあたるなどして、重大な事故につながるおそれがあります。



⚠警告 以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る可能性があります。

可倒式座席の場合、確実に背もたれを固定すること

自動車の可倒式座席（トランクスペースを広く使えるよう、座席の背もたれを前に倒すことができる座席/トランクスルー）にチャイルドシートを取り付ける場合、背もたれを確実に立てて固定してください。背もたれが確実に固定されていないと、使用中に突然背もたれが倒れ、思わぬ事故につながるおそれがあります。



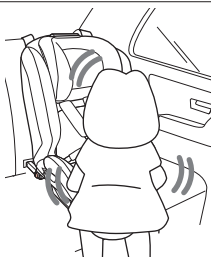
走行中は、チャイルドシートを操作しないこと

自動車の走行中は、本製品を操作してはいけません。取り付け状態の確認や、お子さまの状態の確認でも、走行中には操作しないでください。走行中に異常を発見したり、取り付け状態や、お子さまの状態に不安が生じたりした際は、速やかに自動車を安全な場所に停めてから、確認、操作を行ってください。



走行前には、毎回、本製品の状態を確認すること

他の乗員やお子さまが触れるなどして、必要な固定部位が解除されたりしているおそれがあります。走行前には、毎回本製品の状態を確認して、常に自動車の座席に正しく取り付けられた状態で使用するようにしてください。



必ずお子さまを拘束しておくこと

自動車が動いていない場合などでも、お子さまを本製品に座らせる場合はハーネス、シートベルトを装着させるようにしておいてください。

本製品を高い場所に置かないこと

たとえハーネスで正しく固定していても、お子さまを本製品に乗せたままで椅子の上などの高所、階段の近くなどには一時的にでも放置してはいけません。また、お子さまを乗せていない場合でも、本製品が落下すると思わぬ事故につながるおそれがありますので、落下すると危険な場所には本製品を放置しないでください。

⚠警告 以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る可能性があります。

お子さまを乗せたまま本製品を持ち上げないこと

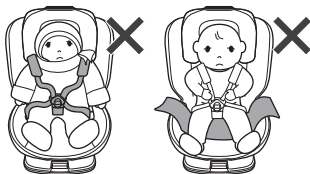
お子さまが本製品から落下したり、本製品が落下したりするなどして思わぬ事故につながるおそれがありますので、たとえハーネスで正しく固定されていたとしても、お子さまを乗せたままチャイルドシートを持ち上げたり、持ち運んだりしないでください。



不適切な着衣で使用しないこと

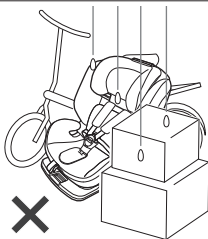
本製品のハーネス、股ベルトでお子さまを正しく拘束できなくなるおそれがありますので、ケープ、毛布など衣服ではないもの、また、おくるみなど、両足が出ない（股ベルトを両足で挟めない）構造の着衣、サイズの大きすぎる着衣で本製品を使用しないでください。厚みのあるダウンジャケットなど、厚着をしている場合には、お子さまが確実に本製品に固定されるように本製品を正しく調節してください。

また、事故や衝撃を受けた際に、お子さまが滑りやすくなりますので、毛布や座布団などの敷物をお子さまの下にしないください。



不適切な保管をしないこと

部品の劣化が早まったり、変質するなどして本製品が正常に機能しなくなるおそれがありますので、風雨にさらされる露天、直射日光のあたる場所、極端に暑くなる場所、湿気の多い場所、ホコリの多い場所などで保管しないでください。また、このような状態で長期間保管した本製品を使用してはけません。



目的外で本製品を使用しないこと

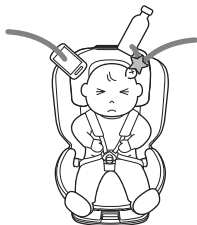
本製品は、チャイルドシートとしてのみ使用することができます。お子さま用の椅子として使用したり、椅子の上のせて使用したり、本製品を睡眠用のベッドとして使用するなど、チャイルドシート以外の目的で使用するとう重大な事故につながるおそれがあります。



注意 以下に記載する内容を守らなければ、軽傷または中程度の傷害を負ったり、本製品またはその他の物品に損害をあたえたりすることがあり得ることを示します。

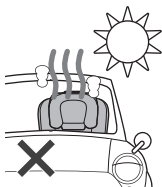
自動車内にある動くものは固定しておくこと

急制動などの際に、チャイルドシートを使用しているお子さまのみならず、他の同乗者にあたるなどしてケガを負うおそれがありますので、自動車内にある動く物品は適切に固定するようにしてください。



部品の過熱に注意すること

ヤケドを負うおそれがありますので、本製品の金属部品や樹脂部品が、日光により過度に加熱していないか確認してから、お子さまを乗せてください。また、本製品を操作する方も、温度を確認してから操作するようにしてください。野外に駐車する際には、日陰に駐車したり本製品に覆いをしたりするなどして加熱を防ぐようにしてください。



ハーネスや股ベルトなどを持って本製品を持ち上げないこと

本製品を持ち上げる際に、ハーネスを持ったり、ソフトパッド、生地部分を持つなどして持ち上げないでください。本製品が破損し、落下するおそれがあります。本製品を持つ場合は、**両手で本製品全体をしっかりと持つ**ようにしてください。



適切な方法でお手入れすること

チャイルドシートが安全に機能しなくなるおそれがありますので、お手入れやメンテナンスの際に潤滑性のある成分を含む洗剤や、油を使用してはいけません。本製品のお手入れは、必ず本取扱説明書の指示に従ってください。

長時間連続して使用しないこと

お子さま、特に新生児期のお子さまを長時間にわたり同じ姿勢で固定すると、お子さまにストレス、疲労をあたえる可能性があります。より快適にご使用いただくため、適宜、お子さまをチャイルドシートから降ろして、お子さまが自由に動けるようにしてあげてください。

また、安全運転のためにもなりますので、最低でも1時間に1度は休憩をとるようにしてください。



注意 以下に記載する内容を守らなければ、軽傷または中程度の傷害を負ったり、本製品またはその他の物品に損害をあたえたりすることがあり得ることを示します。

長期間使用しない場合は、本製品を自動車の座席に取り付けたままにしておかないこと

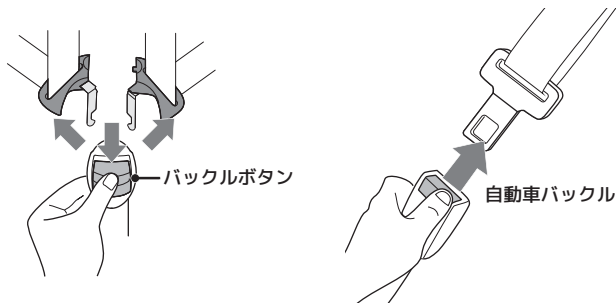
本製品の劣化にもつながりますので、本製品を連続して使用しない場合には、自動車の座席から取り外して、車外で適切に保管するようにしてください。

緊急時の操作

交通事故などの緊急時には、あわてずに、本製品のハーネスでお子さまを固定している場合は、バックルボタンを押し下げてハーネスを外し、自動車の3点式シートベルトでお子さまを固定している場合は、自動車バックルを操作してシートベルトを外し、速やかにお子さまを脱出させてください。

この際に、ハーネスや自動車のシートベルトにお子さまが絡まないように注意してください。バックル、自動車バックルが機能しない場合は、市販のシートベルトカッターなどを使用してハーネス、またはシートベルトを切断し、お子さまを車外に脱出させてください。

お子さまがケガをした場合には、速やかに応急処置を施し、治療するようにしてください。また、外観上はケガがない場合でも、衝撃を受けている可能性がありますので、医師の診断を受けるようにしてください。



基本的な使いかた

ここでは、本製品の基本的な操作方法を説明します。お子さまの成長、体格に合わせて調整が必要な事柄に関しては、常に正しく調整、設定してお使いください。

バックルの使いかた

以下の範囲のお子さまは、本製品のハーネス、バックルを使用します（ハーネスモード）。

参照 P38-51 >ハーネスモードでの使用

ハーネスモード

身長 76cm から 105cm まで
かつ
体重 9kg から 19.5kg まで
かつ
15 ヶ月から 4 歳頃まで

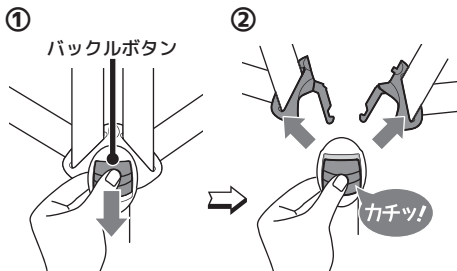
ポイント お子さまの身長が 100cm 以上、かつ体重が 15kg 以上になった場合、ハーネスを本製品内に格納して、自動車の 3 点式シートベルトでお子さまを固定して使用することもできます。

警告 お子さまの身長が 100cm 以上、かつ体重が 15kg 以上になるまでは、ハーネスモードで、ハーネスを使ってお子さまを固定してください。3 点式シートベルトでのお子さまの固定はできません。

外しかた

01

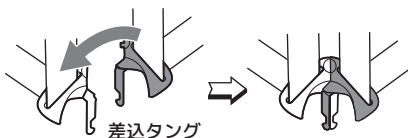
バックルを外すには、①バックルボタンを押し下げます。②「カチッ」と音がして、差込タンクが外れます。



留めかた

01

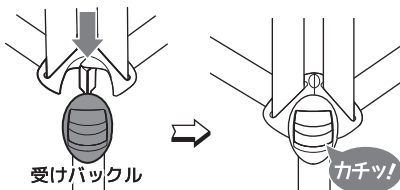
左の差込タングの上に右の差込タングを重ねます。ハーネスをねじらないようにしてください。



危険 ハーネスにねじれがないように注意してください。ハーネスにねじれがあると、本製品が安全に機能しないおそれがあります。

02

左の差込タングの上に右の差込タングを重ねます。ハーネスをねじらないようにしてください。



03

ハーネスを軽く引いて、バックルがしっかりと留まっていることを確認してください。



危険 バックルが正しく留っていないと、本製品の使用中に急にバックルが外れ、お子さまが本製品から飛び出したり、落下したりするなどして、重大な事故につながるおそれがあります。

正しく差込タングを受けバックルに差してもカチッ!と音がしない、バックルリリースボタンが動かないなど、バックルに異常を発見した場合はただちに本製品の使用を中止してください。



ポイント 受けバックルの内部にゴミなどが入らないよう、お子さまを乗せていないときも、バックルを留めておくようにしてください。

ハーネスの長さ調節

お子さまの体格や月齢、着衣の状態に応じて肩ベルトの長さを調節します。

⚠ 警告 ハーネスが適切に調整されていないと、お子さまが本製品から落下したり、過度の負担がかかったりするなどして、重大な事故につながるおそれがあります。

⚠ 注意 左右でハーネスの長さが異なると、ハーネスが所定の機能を発揮できないおそれがあります。必ず左右のハーネスを同じ長さに調整してください。

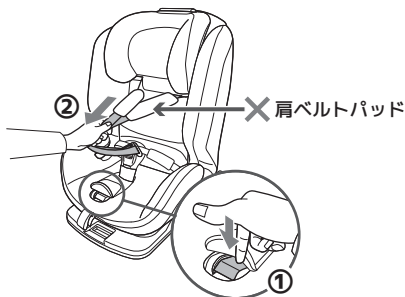
ゆるめかた

01

あらかじめ、バックルを留めておきます。

02

肩ベルトをゆるめるには、座面の前端のカバーをめくり、①アジャスターボタンを押し込みながら、②下図の通り、左右のハーネスを持って、ゆっくりと手前に引き出します。肩ベルトパッドを持つと、ハーネスの引き出しができませんのでご注意ください。



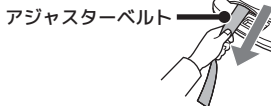
アジャスターボタンはカバーの下（切れ込み）中にあります。
外側からは見えません。

⚠ 危険 左右のハーネスを同時に調節し、左右のハーネスを同じ長さになるように調節してください。左右の長さが異なると、事故や衝撃を受けた際にお子さまがハーネスから外れて飛び出すおそれがあります。

締めかた

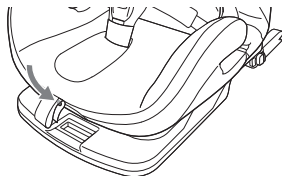
01

ハーネスを短くする（締め付ける）場合は、アジャスターベルトをゆっくりと引きます。お子さまを乗せている場合は、強く締め付けすぎないように注意してください。ハーネスの適切な長さは、お子さまの胸部とハーネスの間に大人の方の指先が差し込める程度です。



02

アジャスターベルトの先端部は、本製品の座面前端部のホックボタンに留めておきます。



警告 ハーネスが強く締め、お子さまを過度に圧迫するおそれがあります。アジャスターベルトを、勢いよくまた必要以上に引っ張らないでください。

ポイント お子さまを乗せて肩ベルトを締める場合、アジャスターベルトはゆっくりと引くようにしてください。

ヘッドレスト・肩ベルトの高さ調節

本製品は、お子さまの成長にあわせてヘッドレストの高さを調節して使用します。ヘッドレストの高さ調節と連動して、お子さまを拘束するハーネスの肩の高さも調節されます。お子さまの成長に合わせて適切に調節してください。

参照 P48 >ハーネスモードでのお子さまの乗せかた > 07

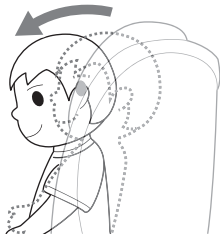
参照 P74 >シートベルトモードでのお子さまの乗せかた > 06

ポイント 自動車の3点式シートベルトで使用する場合も、ヘッドレストの高さを調節することによりシートベルトの肩ベルトの高さを調節します。

危険 ヘッドレストの高さは、お子さまの体格、月齢に合わせ、必ず、適切な高さに調節してください。ヘッドレストの高さが適切でないと、事故や衝撃を受けた際に、お子さまが本製品から飛び出したり、ハーネス、シートベルトがお子さまの首に絡まるなどして、重大な事故につながるおそれがあります。

01

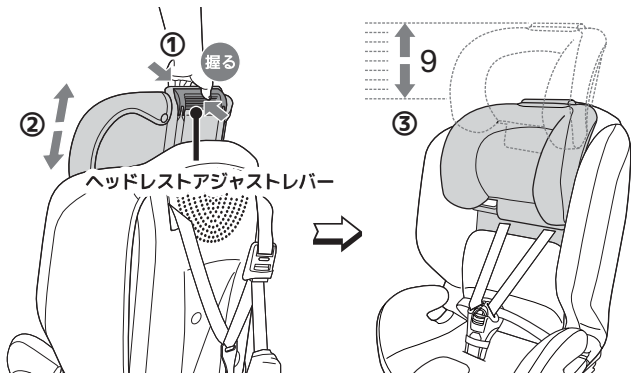
お子様を乗せたまま、高さの調節をする場合、ハーネスをゆるめて、お子様を少し前に傾かせます。



02

①ヘッドレストアジャストレバーを握りながら、②ヘッドレストを上下にスライドさせて、ヘッドレストの高さを調節します。適当な高さで握った手を放して軽く上下に動かすと「カチッ」と音がしてヘッドレストが固定されます。

ヘッドレストの高さは9段階で調節できます。

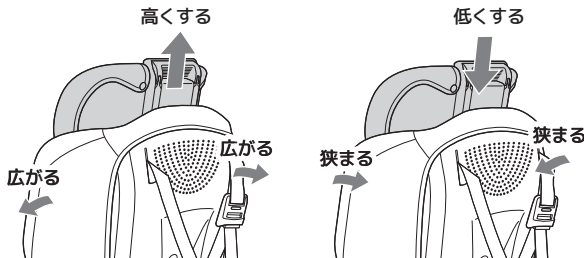


ポイント ヘッドレストアジャストレバーの操作は固めです。操作がしにくい場合は両手でヘッドレストアジャストレバーを握るようにしてください。

03

本製品では、お子さまの成長に合わせて自動的に本製品の背もたれの幅を調節する機能が搭載されています。

ヘッドレストを高くすると背もたれの側面部が広がり、ヘッドレストを低くすると側面部が狭まります。4段階で自動的に調節され、お子さまの安定性と快適性がより高まります。



ヘッドレストを低くした状態（または高くした状態）で適切に取り付けできていた座席でも、ヘッドレストを調節することにより、適切な取り付けができなくなる場合があります。ヘッドレストの高さ
💡ポイントはお子さまを安全に拘束するために重要な操作となりますので、本製品を座席に取り付けてからヘッドレストを調節せず、先にヘッドレストを適切な高さに調節してから、本製品を取り付ける座席を決めて取り付けを行ってください。

リクライニングの調節

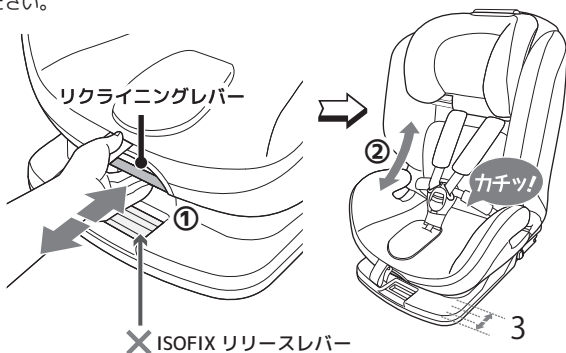
本製品には、背もたれの角度を変えるリクライニング機構が装備されています。

リクライニングは、3段階で調節可能です。

01

本製品の座面先端部の①リクライニングレバーを握って前後に動かして、②背もたれの角度を調節します。「カチッ」と音がして、固定された事を確認してください。リクライニングの角度は3段階で調節することができます。

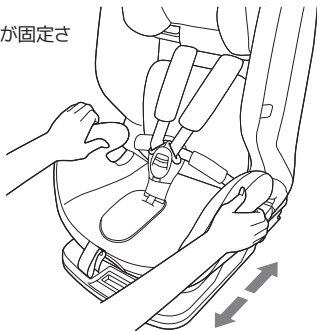
リクライニングレバーの下に、ISOFIX リリースレバーがありますので、間違えないように注意してください。



💡ポイント 本製品のリクライニングは座面の角度は変わらず、背もたれの角度のみが変更されます。

02

念のため、座面を前後に動かして、リクライニングが固定されていることを確認してください。



ソフトパッドの使いかた

以下の範囲のお子さまで、月齢の低いお子さまがハーネスモードで本製品を使用する場合、ヘッドレストを最も低い位置に調節してもお子さまの方の位置がヘッドレストの下端より低くなる間は、ソフトパッドを取り付けて使用してください。

ハーネスモード

身長 76cm から 105cm まで
かつ
体重 9kg から 19.5kg まで
かつ
15 ヶ月から 4 歳頃まで

参照 P38-51 > ハーネスモードでの使用



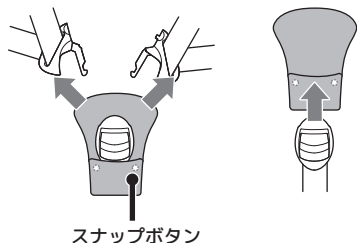
危険 本書の指示に従い、自動車の3点式シートベルトをお子さまが装着（シートベルトモード）するようになった場合は、ソフトパッドは取り外してください。

取り外しかた・取り付けかた

💡ポイント あらかじめ、ハーネスをゆるめておくと、取り外しの操作がしやすくなります。

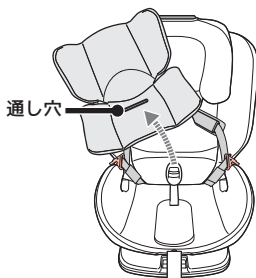
01

バックルを外して、股ベルトパッドの前側のバンドの左右のホックボタンを外して、受けバックルから股ベルトパッドを抜き取ります。



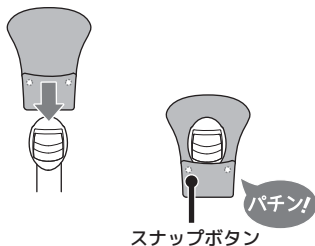
02

ハーネスをソフトパッドから外し、ソフトパッドの通し穴から受けガックルを抜いて、取り外します。



03

股ベルトパッドを、受けガックルに差し入れてスナップボタンを留めます。「パチン」と音がするようにしっかりと留めてください。



⚠ 危険

04

ソフトパッドの取り付けは、逆の手順で行ってください。

ソフトパッドの保管

取り外したソフトパッドは、なくさないようお子さまの手の届かない場所で大切に保管してください。

トップテザーの取り付け・取り外し（共通操作）

本製品を使用するにあたって、トップテザーの取り付けは必ず必要となります。ハーネスモードでの使用でも、シートベルトモードでの使用でも、以下の操作は必須となります。

💡ポイント

トップテザーの取り付けを行う、自動車の座席のテザーアンカーの位置は、車種や座席によって異なります。

あらかじめ、自動車の取扱説明書を参照して、テザーアンカーの位置を確認してください。

テザーアンカーの代表的な位置は以下の通りです。

- 座席の裏側
- 座席の上部
- トランクの底面
- 天井 など

⚠危険

自動車の取扱説明書をよく読み、正しく使用してください。お車の種類や座席により、トップテザーベルトの取り付け、チャイルドシートの使用に関して、特定の操作が必要になる場合があります。必ず、自動車の取扱説明書の該当する箇所をよく読み、正しく本製品を取り付け、使用してください。

テザーアンカーのない座席では本製品は使用できません。車種、座席によっては、ISOFIX 固定バーが装備されていたとしても、テザーアンカーが装備されていない可能性があります。

本製品は、トップテザーの取り付けが必須です。テザーアンカーがない場合は、たとえ ISOFIX 固定バーが装備されていたとしても、その座席に取り付けてはいけません。

⚠警告

安全のため、取り付け、取り外しの作業中は、お子さまを近づけないようにしてください。

⚠注意

お子さまを本製品に乗せた状態で、取り付け、取り外しの作業はしないでください。

取り付けかた

01

ここでは、トップテザーの取り付け、取り外しの操作方法のみを説明します。実際にご使用になる場合には、トップテザーの締め付け、の操作が必要となります。お子さまの成長に合わせたそれぞれの取り付け方法の説明において、トップテザーの締め付け操作を説明しています。必ず【トップテザーの締め付け操作】を行った上で本製品をご使用ください。

参照 P42 > 自動車の座席への取り付け > 08

参照 P63 > 自動車の座席への取り付け > ISOFIX + トップテザーで使用する場合 > 08

参照 P68 > 自動車の座席への取り付け > トップテザーのみで使用する場合 > 05

⚠危険

トップテザーベルトがゆるんだ状態で使用すると、事故や衝撃を受けた際に本製品が所定の安全性能を発揮することができません。必ず締め付け操作を行ってください。

02

取り付けようとする座席のテザーアンカーの場所を確認します。

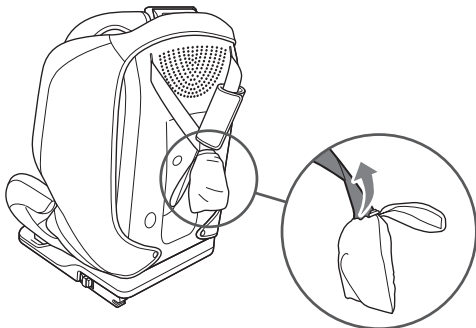
ISOFIX コネクターを使用する場合は、先に ISOFIX ガイドを汎用 ISOFIX 固定装置に取り付けた方が作業がしやすくなります。

💡ポイント 参照 P39 >ハーネスモードでの使用>自動車の座席への取り付け> 02

参照 P59 >自動車の座席への取り付け> ISOFIX + トップテザーで使用する場合> 02

03

取り付けようとする座席に本製品を置き、ベルトポケットを開けてトップテザーベルトを取り出します。ベルトポケットはトップテザーベルトに縫い付けられていますのでベルトポケット（袋部）は取り外しできません。

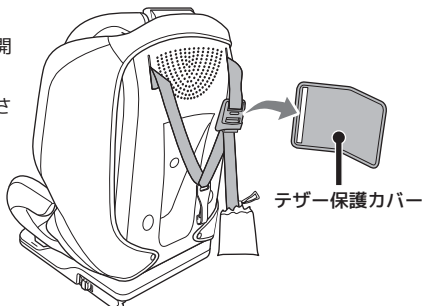


💡ポイント ISOFIX コネクターを使用する場合、先に ISOFIX コネクターを固定するとトップテザーの操作がしにくくなります。

04

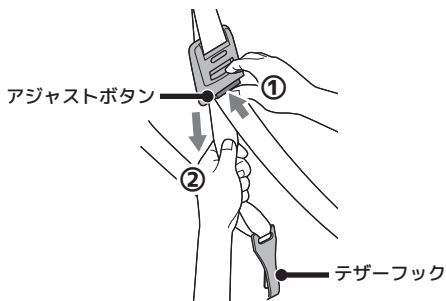
テザー保護カバーの面ファスナーを開いて取外します。

取外したテザー保護カバーは、なくさないように大切に保管してください。



05

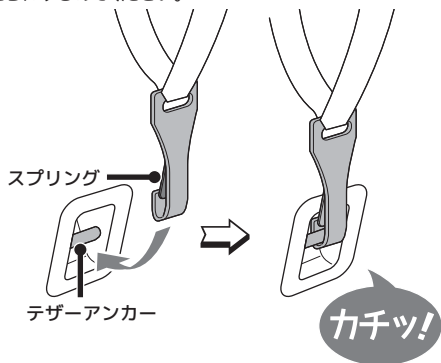
テザーベルトアジャスターの、①アジャストボタンを押しながら、②テザーフックの付いた方のベルトを引き出して、トップテザーベルトをゆるめます。



06

テザーフックを、自動車のテザーアンカーに取り付けます。テザーフックのスプリングをテザーアンカーに押し付けて、フックをアンカーに通します。

トップテザーベルトが短くてテザーアンカーに届かない場合は、本製品を近づけるか、トップテザーベルトをさらにゆるめてください。

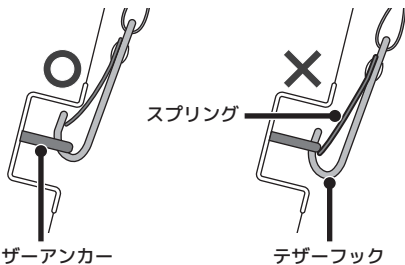


ポイント テザーアンカーの形状、位置は、自動車の車種によって異なります。自動車の説明書においても、トップテザーベルトの取り付けかたが記載されていますので、併せてご確認ください。

07

テザーフックが、正しくテザーアンカーに取り付けられているか確認します。

テザーフックのスプリングがテザーアンカーに引っ掛かっていることを確認してください。



08

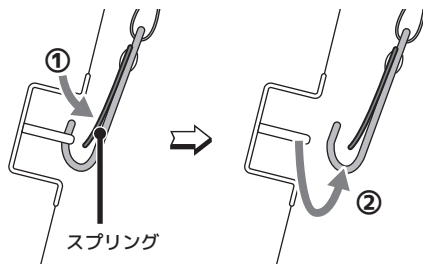
トップテザーベルトを引っ張って、テザーアンカーから抜けられないことを確認します。

実際にご使用になる際には、この後、【トップテザーの締め付け操作】を行います。

取り外しかた

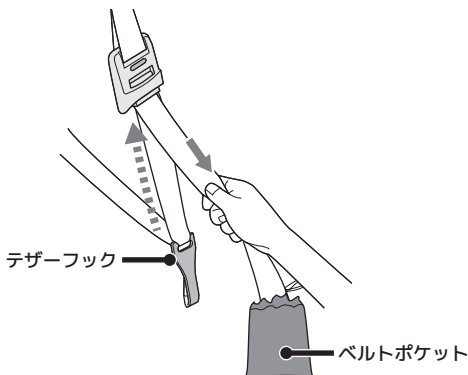
01

テザーフックを取り外す場合は、①スプリングを押し込んで、②テザーアンカーから取り外します。



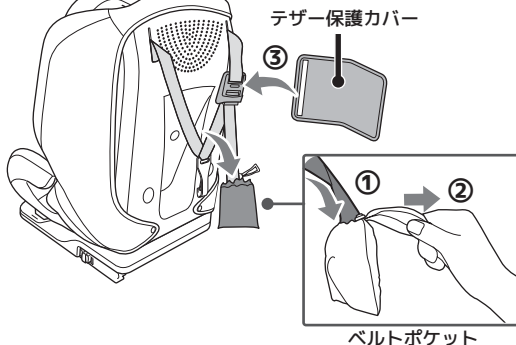
02

ベルトポケット側のトップテザーベルトを引いて、テザーフック側のベルトを、テザーベルトアジャスターとテザーフックが近く(この後、テザー保護カバーで両方をカバーします)になるまで短くします。



03

トップテザーベルトをたたみ、①ベルトポケットの口を開けて、テザーベルトを収納し、②口ひもを引いて口を閉じます。③テザーベルトアジャスターと、テザーフックをテザー保護カバーで包みます。



⚠ 警告

トップテザーベルトの余長部分は、必ず袋の中に収納しておいてください。トップテザーベルトがお子さまに絡まったり足に絡まって転倒したり、テザーベルトアジャスター、テザーフックがあたるなどして、思わぬ事故につながるおそれがあります。本製品の取り外し後は、必ずトップテザーベルトの余長分をベルトポケットの中に収納し、テザーフックとテザーベルトアジャスターをテザー保護カバーで包んでください。

ハーネスモードでの使用

身長 76cm ～ 105cm かつ体重 9kg ～ 19.5kg のお子さま(生後 15 ヶ月から 4 歳頃まで)は、本製品を自動車の ISOFIX、トップテザーで固定して、本製品のハーネスでお子さまを拘束して使用します。お子さまの体格、成長、着衣の状態にあわせてソフトパッドをご使用ください。

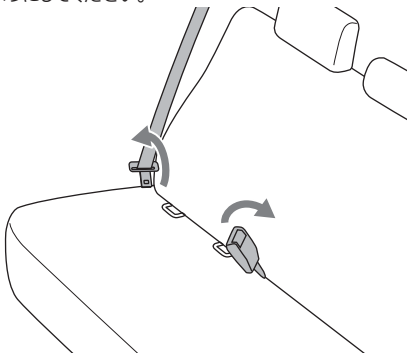
身長・体重 (参考年齢)	使用方法	
	取り付け／装着	ソフトパッドなど
ハーネスモード 76cm-105cm かつ 9kg-19.5kg 15 ヶ月から 4 歳頃	 ① ISOFIX ② トップテザー ③ ハーネス	 お子さまの肩の位置がヘッドレストの下端よりも低くなる場合は、必ずソフトパッドを使用してください。

💡ポイント お子さまの身長が 100cm 以上、かつ体重が 15kg 以上になった場合、ハーネスを本製品内に格納して、自動車の 3 点式シートベルトでお子さまを固定 (シートベルトモード) して使用することもできます。

自動車の座席への取り付け

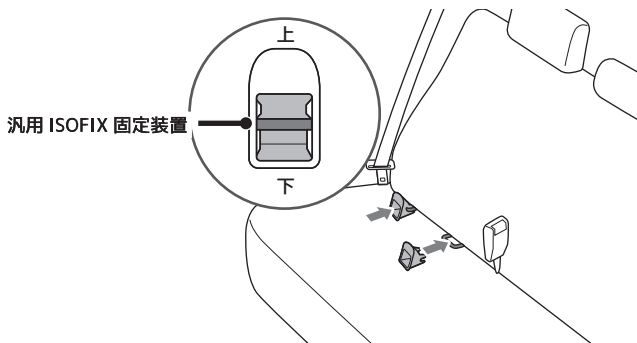
01

本製品を取り付ける自動車の座席のシートベルトは、留めずに巻き取るなどして邪魔にならないようにしておきます。シートベルトの差込タンクや受けバックル、その他のものの上に本製品を乗せないようにしてください。



02

ISOFIX ガイドを、座席の汎用 ISOFIX 固定装置に差し込みます。ISOFIX ガイドには上下の向きがあります。下図を参照して正しい向きで差し込んでください。



自動車の汎用 ISOFIX 固定装置は、座面と背もたれの間の奥にあります。背もたれを押し上げるか、座面を押し下げると、汎用 ISOFIX 固定装置が見えますので、その状態で ISOFIX ガイドを差し込んでください。また、車種によっては、汎用 ISOFIX 固定装置にカバーが掛けられている場合がありますので、お車の取扱説明書をご確認ください。

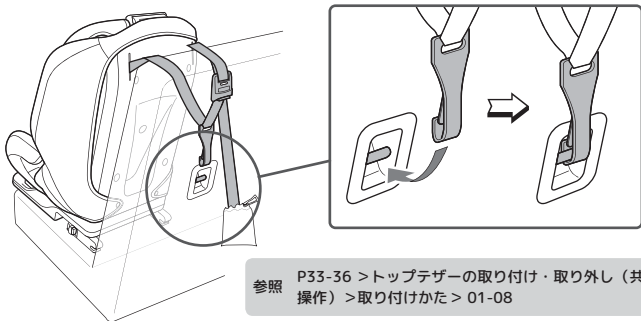
💡ポイント

車種によっては、構造上 ISOFIX ガイドを差し込めない場合があります。その場合は、ISOFIX ガイドを差し込まずに本製品を取り付けることもできますが、自動車の座席の表皮に傷がつく場合があります。あらかじめご了承ください。

03

トップテザーベルトを十分にゆるめて、テザーアンカーにテザーフックを固定します。

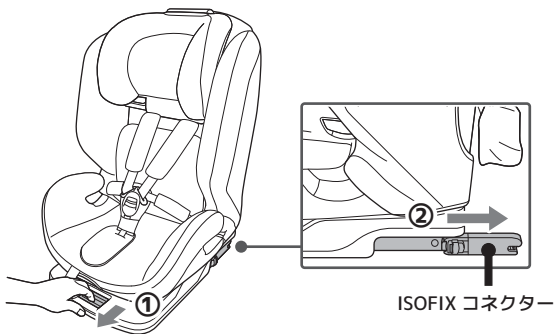
トップテザーの取り付けは、「トップテザーの取り付け・取り外し（共通操作）」を参照してください。（車種によりテザーアンカーの位置は異なります）



参照 P33-36 > トップテザーの取り付け・取り外し（共通操作）> 取り付けかた > 01-08

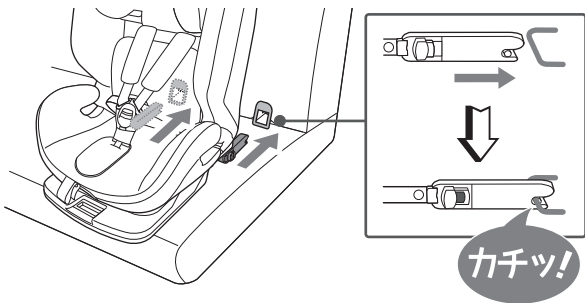
04

① ISOFIX コネクターレバーを手前に引いて、② ISOFIX コネクターを引き出します。



05

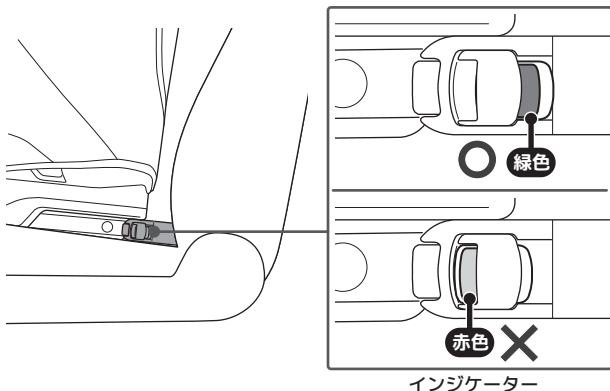
左右の ISOFIX コネクターを ISOFIX ガイドにしっかりと差し込み、汎用 ISOFIX 固定装置に固定します。「カチッ」と音がしてしっかり固定されるまで差し込んでください。



06

左右の ISOFIX コネクターのインジケーターが両方とも緑色になっていることを確認します。必ず、左右両方とも確認してください。

左右いずれか一方でも緑色になっていない場合は、もう一度差し込み直してください。

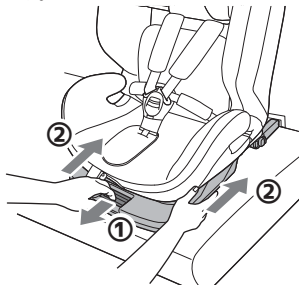


ISOFIX コネクターのインジケーターを確認するため、明るい場所で作業するか、懐中電灯で照らすなどしてください。

💡ポイント また、ISOFIX コネクターのインジケーターが緑色になっている場合でも、念のため、しっかりと固定されているかどうか、軽く本製品を動かして確認するようにしてください。左右いずれか一方でも緑色になっていない場合は、もう一度差し込み直してください。

07

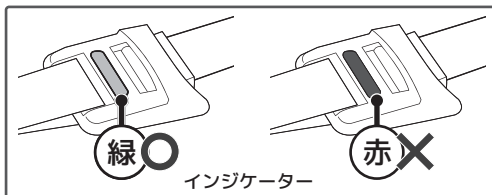
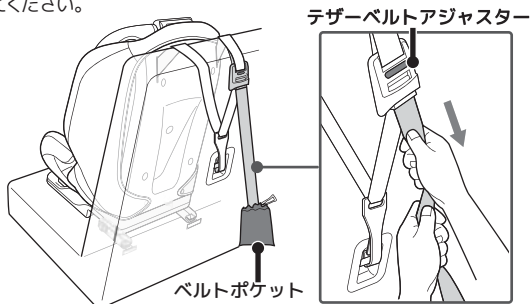
① ISOFIX コネクターレバーを手前に引きながら、②本製品を座席の背もたれ側に押し付けるようにして、強く押し込みます。



08

【トップテザーの締め付け操作】を行います。

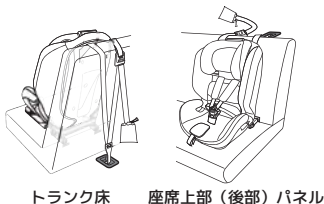
ベルトポケット側のトップテザーベルトを、強く引いて、トップテザーベルトを締め付けます。テザーベルトアジャスターのインジケーターが緑色になるまで、締め付けてください。テザーベルトアジャスターから手を放しても、インジケーターが緑色のままになっていることを確認してください。



危険

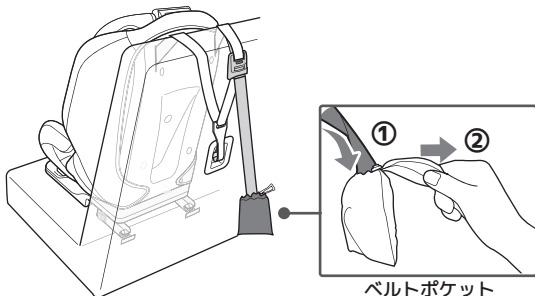
テザーベルトアジャスターのインジケーターが完全に緑色になるまで、強くトップテザーベルトを締め付けてください。テザーフックが正しくテザーアンカー取り付けられ、正しくトップテザーベルトが締め付けられてないと、事故や衝撃を受けた際に本製品が所定の安全性能を発揮しなくなるおそれがあります。

💡 **ポイント** テザーアンカーの位置は車種により異なります。自動車の取扱説明書を参照してください。



09

余ったトップテザーベルトを、①ベルトポケットの中に収納して、②口紐を引いて口を閉じておきます。



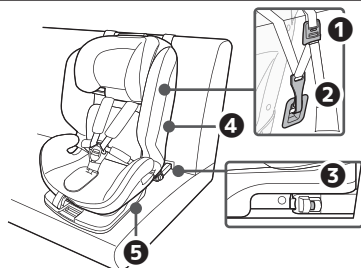
⚠ 警告

トップテザーベルトの余長部分は、必ず袋の中に収納しておいてください。トップテザーベルトがお子さまに絡まったり、足に絡まって転倒するなどして、思わぬ事故につながるおそれがあります。本製品の取り付け後は、必ずトップテザーベルトの余長分を袋の中に収納しておいてください。

10

以下を参照して、正しく取り付けできていることを確認します。正しくない部分がある場合、そのまま使用せず、取り付けなおしてください。

Check!!



- ① トップテザーベルトが強く締め付けられていて、テザーベルトアジャスターのインジケータが緑色になっていること。
- ② テザーフックが正しくテザーアンカーに固定されていること。
- ③ 左右のISOFIX コネクターが正しく汎用 ISOFIX 固定装置に固定され、ISOFIX コネクターのインジケータが左右とも緑色になっていること。
- ④ 本製品が、自動車の座席の背もたれ側にしっかりと押し付けられていること。
- ⑤ 本製品と、自動車の座席の座面との間に、シートベルトなどの異物が挟まれていないこと。

⚠ 危険

本製品を取り付けて、トップテザーベルトの締め付けを行った後で、本製品を座席の背もたれ側に押し付ける操作（上図④）を行わないこと。

本製品を背もたれ側に押し付ける操作を行うと、トップテザーベルトの締め付けがゆるみます。このような場合は、再度、【トップテザーの締め付け操作】を行ってください。

ハーネスモードでのお子さまの乗せかた

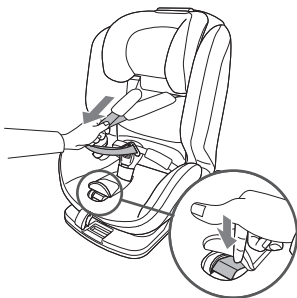
01

お子さまの成長、体形、着衣の状態に合わせて、ソフトパッドを取り付けます。

参照 P31-32 >ソフトパッドの使いかた

02

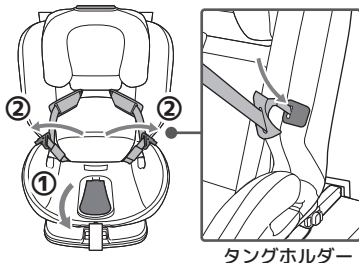
ハーネスをゆるめます。



参照 P26 >ハーネスの長さ調節>ゆるめかた > 01-02

03

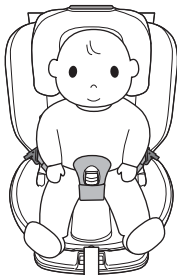
バックルを外して、お子さまが受けバックルや差込タングの上に座らないよう、①股ベルト（受けバックル）を前側に倒し、②差込タングを外側に突出して、両サイドのタングホルダーに差込タングをそれぞれ差し込みます。



注意 ケガ、故障、破損のおそれがありますので、受けバックル、差込タング、その他のものの上にお子さまが座らないように注意してください。また、お子さまが座る前には必ず、本製品の上に異物が乗っていないことを確認してください。

04

お子さまの背筋を伸ばし、楽な姿勢にして本製品に座らせませす。お子さまの股が、股ベルトの根元あたりにくるようにしてください。



ポイント

お子さまは楽な姿勢で座らせてください。座りかたが、浅すぎたり、深すぎたりしないようにご注意ください。



楽な姿勢



浅すぎる



深すぎる

危険

誤った姿勢で乗っているとお子さまを正しく拘束できず、事故や急制動の際にお子さまに過剰な負担がかかったり、本製品から飛び出すなどして思わぬ事故につながるおそれがあります。必ずお子さまを正しい姿勢で本製品に乗せてください。

05

差込タングをタングホルダーから外し、ハーネスにお子さまの腕を通します。

ハーネス、股ベルトにねじれがないことを確認して、ハーネスの腰の部分（腰ベルト）がお子さまの骨盤の上を通るようにして、「カチッ」と音がするようにしっかりとバックルを留めます。



腰ベルトを骨盤の上に通す

ハーネスの装着がきつい場合は無理にバックルを留めず、ハーネスをさらにゆるめてからバックルポイント^①を留めます。次に記載のハーネスの高さの調節をおこなうと、さらにハーネスが締め付けられる可能性があります。

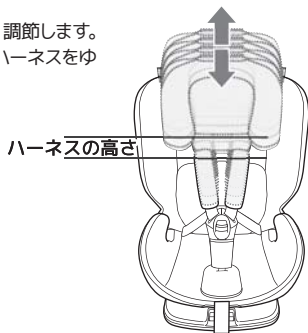


危険 ハーネス、股ベルトをねじらないようにしてください。ハーネスや股ベルトにねじれがあると本製品が所定の安全性能を発揮できず、思わぬ事故につながるおそれがあります。

06

ヘッドレストを操作して、ハーネスの高さを確認、調節します。

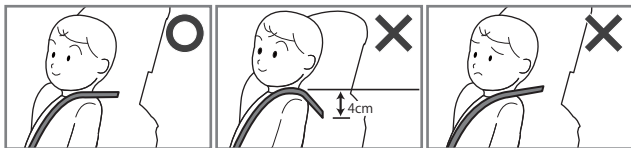
ハーネスが締め付けられている場合は、さらにハーネスをゆるめてください。



参照 P26 >ハーネスの長さ調節>ゆるめかた > 01-02

07

ハーネス使用時には、ハーネスの肩の位置は、お子さまの肩の位置にと水平の高さに調節します。4cm までならば、お子さまの肩よりも低い位置でもご使用いただけますが、お子さまの肩の高さよりも高い位置には調節しないでください。お子さまの肩の高さよりも高い位置に調節すると、お子さまがハーネスから抜けるおそれがあります。



肩と同じ高さ

肩よりも少し低い(4cm 以下)

肩よりも高い

ハーネスの高さは毎回調節する必要はありませんが、左右が同じ長さで適正な高さになっているかを使用毎に確認するようにしてください。お子さまは成長が早いので適宜確認、調節するようにしてください。

♀ポイント

ソフトパッドを調節した場合は、ハーネスの高さ、長さの調節が必要となります。また、お子さまの成長に合わせて、適宜調節してください。

⚠危険

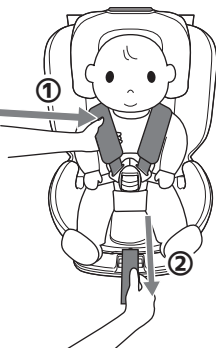
ハーネスは、必ず、左右同じ長さで適切な高さに調節してください。ハーネスが適切に調節されていないと、事故や衝撃を受けた際に、お子さまが本製品から飛び出したり、ハーネスがお子さまの首に絡まるなどおそれ、重大な事故につながるおそれがあります。

⚠注意

ハーネスの高さ調節は、お子さまの頭部に負担がかからないよう、やさしく、ゆっくりと操作してください。

08

お子さまの胸部で、ハーネスとお子さまの間に、①片手の掌を差し込んで、②別の手でアジャスターベルトをゆっくりと引っ張り、締めつけていきます。差し込んだ掌がハーネスとお子さまの身体の間に挟まれるまで、アジャスターベルトを締めつけてください。



⚠危険

ハーネスが強く締めすぎるおそれがありますので、アジャスターベルトを、勢いよく引っ張らないでください。強くハーネスが締まるほど、お子さまの保護は強くなりますが、強く締めすぎるとお子さまに過剰な負担がかかり、重大な事故につながるおそれがあります。逆に、締めつけがゆるすぎると、使用中にお子さまが本製品から落下したり、衝撃を受けた際にお子さまを正しく保護することができません。必ず、お子さまの胸部で大人の片手の掌が差し込める程度に締めつけるようにしてください。

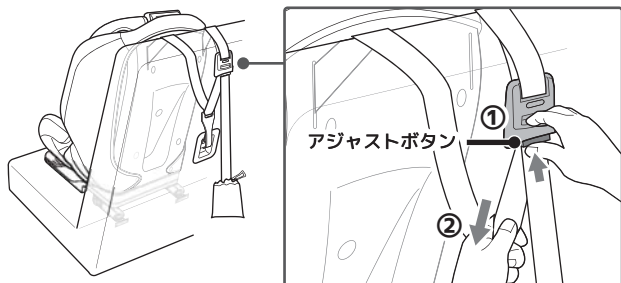
09

お子さまを降ろす場合は、バックルを外し、ハーネスから肩、腕を抜いてゆっくりと降ろしてください。

自動車の座席から取り外す

01

テザーベルトアジャスターの、①アジャストボタンを押しながら、②テザーフック側のベルトを引いて、トップテザーベルトをゆるめます。



02

テザーフックをテザーアンカーから外して、トップテザーベルトをベルトポケットに収納し、テザーベルトアジャスターとテザーフックをテザー保護カバーで包みます。以下を参照してください。

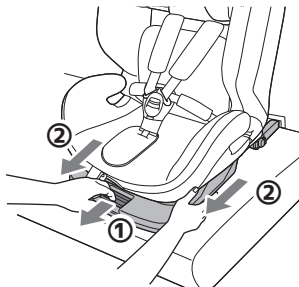
参照 P36-37 > トップテザーの取り付け・取り外し（共通操作）> 取り外しかた > 01-03

⚠ 警告

トップテザーベルトの余長部分は、必ず袋の中に収納しておいてください。トップテザーベルトがお子さまに絡まったり足に絡まって転倒したり、テザーベルトアジャスター、テザーフックがあたるなどして、思わぬ事故につながるおそれがあります。本製品の取り外し後は、必ずトップテザーベルトの余長分をベルトポケットの中に収納し、テザーフックとテザーベルトアジャスターをテザー保護カバーで包んでください。

03

① ISOFIX コネクターレバーを手前に引きながら、②本製品を手前に引きます。

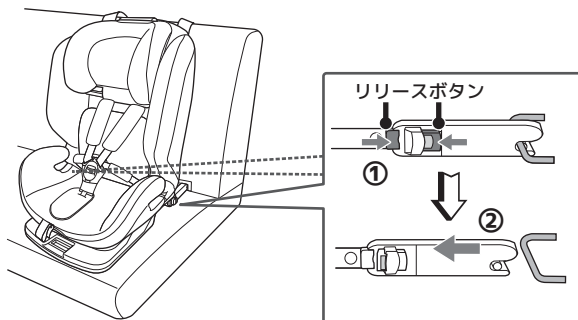


04

ISOFIX コネクターはダブルロック構造になっています。

前後のリリースボタンを同時に押して、② ISOFIX 固定バーから抜きます。

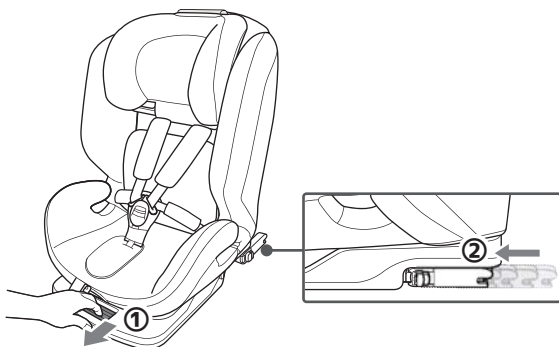
左右とも同じように操作して、ISOFIX コネクターを取り外してください。



05

① ISOFIX コネクターレバーを手前に引いて、② ISOFIX コネクターを本体内に格納します。

本製品を自動車から出します。

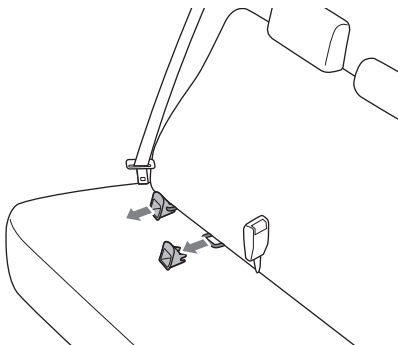


💡ポイント

破損を防ぐため、本製品を取り外した場合は、ISOFIX コネクターは本体内に格納しておいてください。

06

ISO-FIX ガイドを取り外します。ISO-FIX ガイドは、なくさないようにお子さまの手の届かない場所で大切に保管してください。



⚠ 注意 ISO-FIX ガイドが紛失、破損したり、乗員がケガをするおそれがあります。ISO-FIX ガイドは、必ず取り外した上、お子さまの手の届かない場所で、なくさないよう大切に保管してください。

シートベルトモードでの使用

身長 100cm ～ 150cm かつ体重 15kg ～ 36kg のお子さま (3 歳頃から 12 歳頃まで) は、本製品のハーネスを本体内に格納して、自動車の座席の 3 点式シートベルトを装着して使用します。

身長・体重 (参考年齢)	使用方法	
	取り付け/装着	ソフトパッドなど
シートベルトモード 100cm-150cm かつ 15kg-36kg 3 歳頃から 12 歳頃	① ISOFIX ② トップテザー ③ 3 点式シートベルト	
	① トップテザー ② 3 点式シートベルト	ソフトパッド、ハーネスは使用しないでください。

💡ポイント お子さまの身長が 100cm かつ体重 15kg までは、本製品のハーネスを装着して使用することができます。

本製品の自動車の座席への固定には、ISOFIX、トップテザーを使用します。ISOFIX 固定装置が装備されていない場合は、トップテザーのみで使用することができます。ISOFIX 固定装置のみでの固定では使用できません。トップテザーでの固定は必須です。いずれの場合も、お子さまは自動車の 3 点式シートベルトを装着して使用します。

💡ポイント トップテザーアンカーが装備された座席の場合、稀なケースを除いて、座席には汎用 ISOFIX 固定装置も装備されています。ISOFIX 固定装置を使用しなくてもトップテザーのみでの使用も可能ですが、ISOFIX 固定装置を併用した方が、より安全にご使用いただけます。

ソフトパッドの取り外し

以下を参照して、ソフトパッドを取り外します。

参照 P31-32 >ソフトパッドの使いかた

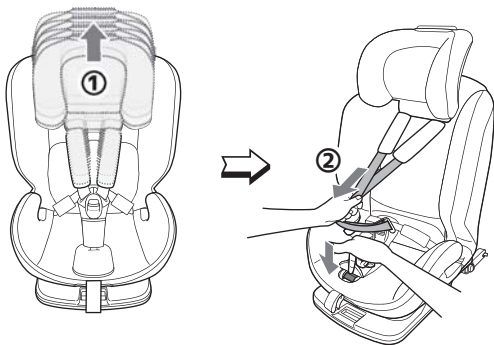
⚠ 警告 3点式シートベルトを使用する場合は、ソフトパッドは使用できません。ソフトパッドは取り外してお子さまの手の届かない場所で大切に保管してください。

ハーネスの格納

3点式シートベルトを使用する場合は、本製品のハーネスは使用しません。ハーネスは本体内に格納することができます。

01

①ヘッドレストを最も高い位置に調節して、②ハーネスをゆるめておきます。



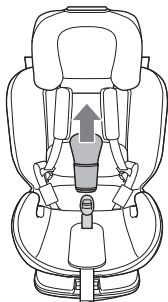
参照 P28 >ヘッドレスト・肩ベルトの高さ調節 > 02

参照 P26 >ハーネスの長さ調節 >ゆるめかた > 01-02

💡ポイント ヘッドレストアジャストレバーの操作は固めです。操作がしにくい場合は両手でヘッドレストアジャストレバーを握るようにしてください。

02

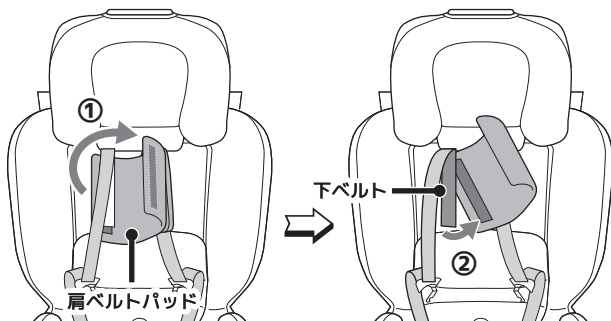
股ベルトパッドを抜き取ります。



参照 P31 >ソフトパッドの使いかた>取り外しかた・取り付けかた> 01

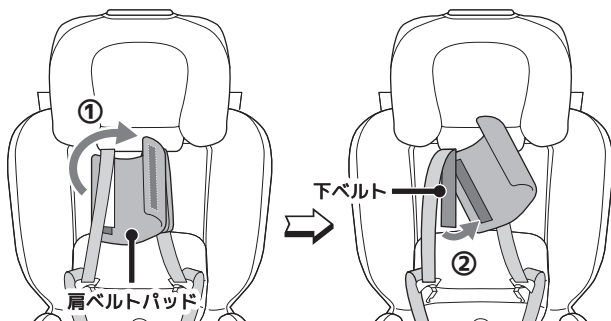
03

①肩ベルトパッドの面ファスナーを外して開きます。②肩ベルトパッドは、ハーネス（肩ベルト）の下側にある、下ベルトに面ファスナーで固定されています。下ベルトから肩ベルトパッドを外して取り外します。左右とも同じようにしてください。



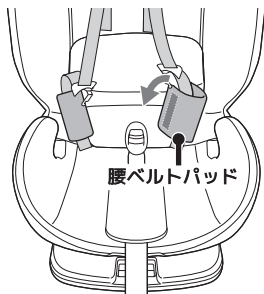
04

①肩ベルトパッドの面ファスナーを外して開きます。②肩ベルトパッドは、ハーネス（肩ベルト）の下側にある、下ベルトに面ファスナーで固定されています。下ベルトから肩ベルトパッドを外して取り外します。左右とも同じようにしてください。



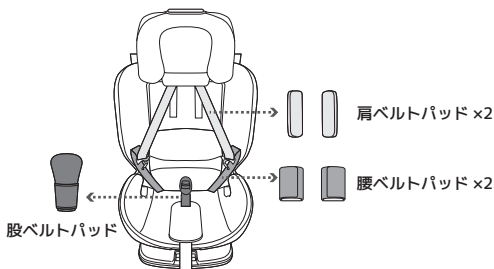
05

腰ベルトパッドの面ファスナーを外して開き、ハーネス（腰ベルト）から取り外します。左右とも同じようにしてください。



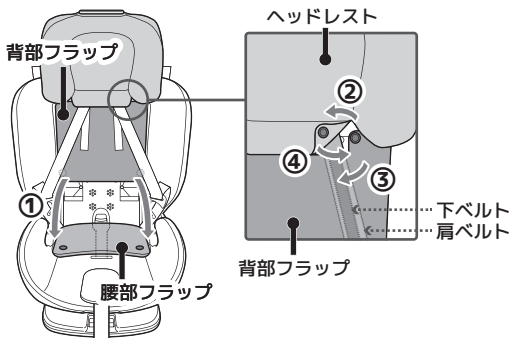
💡ポイント

ここで取り外したパッド類は以下の通りです。いずれもハーネスを使用する場合には取り付け直す必要があります。なくさないように、お子さまの手の届かない場所で大切に保管してください。



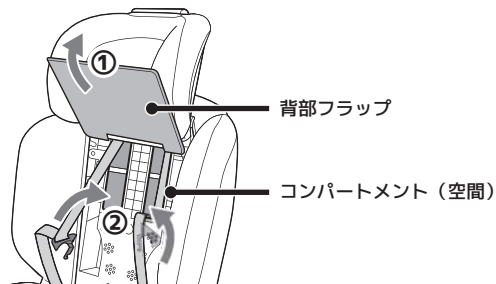
06

①背もたれ部分で留められているホックボタン（2カ所）を外して腰部フラップを前側に倒します。②ヘッドレストと背部フラップの接合部分のホックボタンを外して、③肩ベルトと下ベルトを背部フラップの裏側に回して、④ホックボタンを留めなおします。②③④の操作は、左右とも行ってください。



07

①背部フラップを上をめくり、②差込タングと肩ベルト、下ベルトをコンパートメント内に格納します。左右とも同じようにしてください。



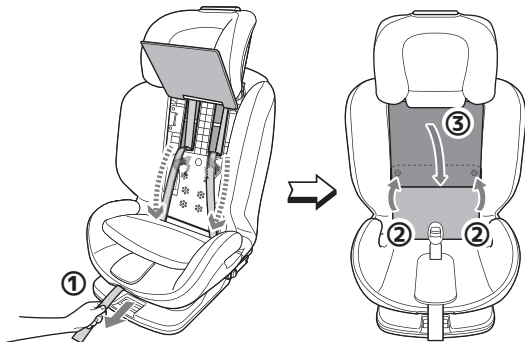
差込タングがコンパートメントに入れにくい場合は、ハーネスをさらに緩めてください。

💡ポイント

参照 P26 > ハーネスの長さ調節 > ゆるめかた > 01-02

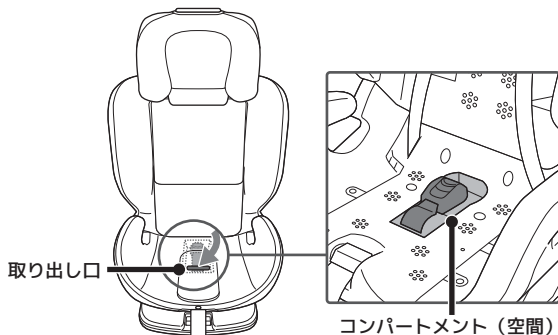
08

①アジャスターベルトを引いて、整えます。②腰部フラップを立ててホックボタンを留め、③背部フラップを腰部フラップに重ねるようにして倒します。



09

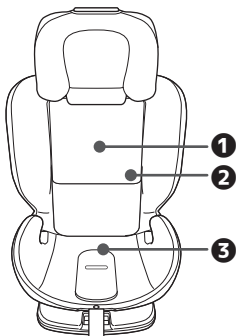
受けバックル（股ベルト）を、取り出し口を通して、座面下のコンパートメント内に格納します。
下図のような状態になります。



10

下図のようになっている事を確認してください。正しくなっていない部分がある場合はそのまま使用せず、各項目を参照して正しい状態にしてからご使用ください。

Check!!



- ① 差込タングが本体背もたれ部のコンパートメント内に格納されていること。
- ② 腰部フラップのホックボタン（2カ所）がしっかりと留まっていること。
- ③ 受けバックル（股ベルト）が本体座面部下のコンパートメント内に格納されていること。

11

ハーネスモードに戻す場合は、逆の手順でハーネス、バックルを取り出して、パッド類を取り付けてください。

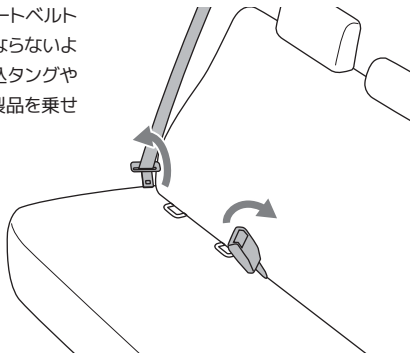
自動車の座席への取り付け

ISOFIX + トップテザーで使用する場合

ISOFIX とトップテザーを使用した取り付けと、トップテザーのみでの取り付けでは操作が異なる部分があります。トップテザーのみで取り付け使用する場合は、P66[トップテザーのみで使用する場合]を参照して操作してください。

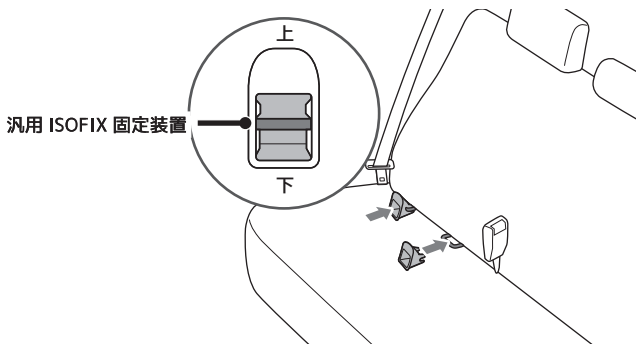
01 (共通)

本製品を取り付ける自動車の座席のシートベルトは、留めずに巻き取るなどして邪魔にならないようにしておきます。シートベルトの差込タングや受けバックル、その他のものの上に本製品を乗せないようにしてください。



02

ISOFIX ガイドを、座席の汎用 ISOFIX 固定装置に差し込みます。ISOFIX ガイドには上下の向きがあります。下図を参照して正しい向きで差し込んでください。



💡 ポイント ISOFIX を使用しない場合は、ISOFIX ガイドは取り付けしません。

自動車の汎用 ISOFIX 固定装置は、座面と背もたれの間の奥にあります。背もたれを押し上げるか、座面を押し下げると、汎用 ISOFIX 固定装置が見えますので、その状態で ISOFIX ガイドを差し込んでください。また、車種によっては、汎用 ISOFIX 固定装置にカバーが掛けられている場合がありますので、お車の取扱説明書をご確認ください。

💡ポイント

車種によっては、構造上 ISOFIX ガイドを差し込めない場合があります。その場合は、ISOFIX ガイドを差し込まずに本製品を取り付けることもできますが、自動車の座席の表皮に傷がつく場合があります。あらかじめご了承ください。

03（共通）

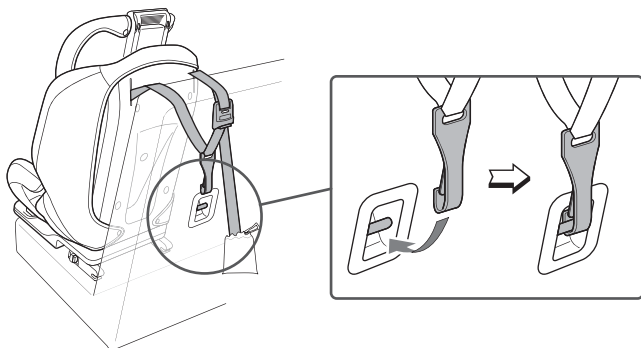
トップテザーベルトを十分にゆるめて、テザーアンカーにテザーフックを固定します。

トップテザーの取り付けは、「トップテザーの取り付け・取り外し（共通操作）」を参照してください。（車種によりテザーアンカーの位置は異なります）

参照 P33-36 > トップテザーの取り付け・取り外し（共通操作）> 取り付けかた > 01-08

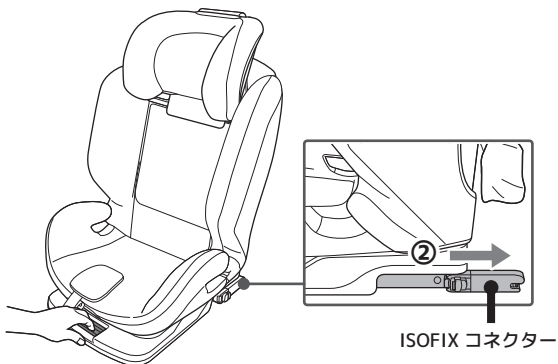
💡ポイント

「トップテザーの取り付け・取り外し（共通操作）」では、本製品のハーネスを使用する場合での図示になっていますが、操作内容は同じです。



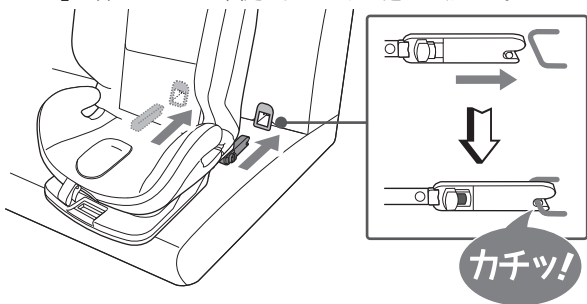
04

① ISOFIX コネクターレバーを手前に引いて、② ISOFIX コネクターを引き出します。



05

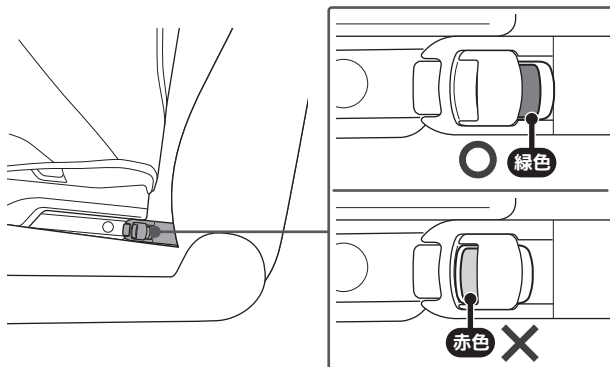
左右の ISOFIX コネクターを ISOFIX ガイドにしっかりと差し込み、汎用 ISOFIX 固定装置に固定します。「カチッ」と音がしてしっかりと固定されるまで差し込んでください。



06

左右の ISOFIX コネクターのインジケーターが両方とも緑色になっていることを確認します。必ず、左右両方とも確認してください。

左右いずれか一方でも緑色になっていない場合は、もう一度差し込み直してください。



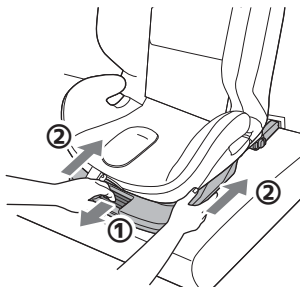
インジケーター

ISOFIX コネクターのインジケーターを確認するため、明るい場所で作業するか、懐中電灯で照らすなどしてください。

💡ポイント また、ISOFIX コネクターのインジケーターが緑色になっている場合でも、念のため、しっかりと固定されているかどうか、軽く本製品を動かして確認するようにしてください。左右いずれか一方でも緑色になっていない場合は、もう一度差し込み直してください。

07

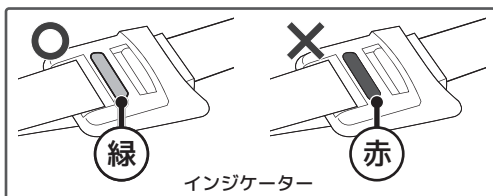
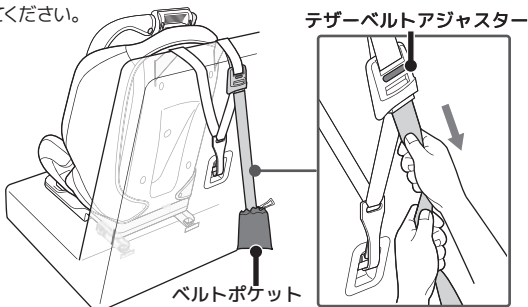
① ISOFIX コネクターレバーを手前に引きながら、②本製品を座席の背もたれ側に押し付けるようにして、強く押し込みます。



08

【トップテザーの締め付け操作】を行います。

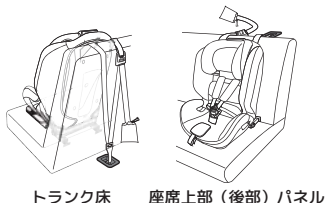
ベルトポケット側のトップテザーベルトを、強く引いて、トップテザーベルトを締め付けます。テザーベルトアジャスターのインジケーターが緑色になるまで、締め付けてください。テザーベルトアジャスターから手を放しても、インジケーターが緑色のままになっていることを確認してください。



危険

テザーベルトアジャスターのインジケーターが完全に緑色になるまで、強くトップテザーベルトを締め付けてください。テザーフックが正しくテザーアンカー取り付けられ、正しくトップテザーベルトが締め付けられてないと、事故や衝撃を受けた際に本製品が所定の安全性能を発揮しなくなるおそれがあります。

💡 **ポイント** テザーアンカーの位置は車種により異なります。自動車の取扱説明書を参照してください。

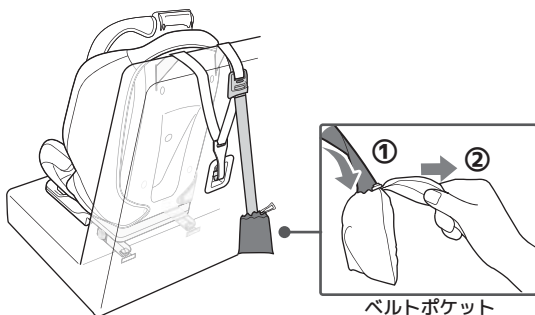


トランク床

座席上部（後部）パネル

09（共通）

余ったトップテザーベルトを、①ベルトポケットの中に収納して、②口紐を引いて口を閉じておきます。



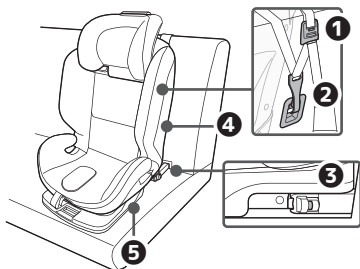
⚠ 警告

トップテザーベルトの余長部分は、必ず袋の中に収納しておいてください。トップテザーベルトがお子さまに絡まったり、足に絡まって転倒するなどして、思わぬ事故につながるおそれがあります。本製品の取り付け後は、必ずトップテザーベルトの余長分を袋の中に収納しておいてください。

10

以下を参照して、正しく取り付けできていることを確認します。正しくない部分がある場合、そのまま使用せず、取り付けなおしてください。

Check!!



- ❶ テザーベルトアジャスターのインジケーターに緑色が表示されて、テザーベルトがしっかりと締め付けられていること。(赤色になっていても、締め付け時に緑色が表示され、テザーベルトがしっかりと締め付けができていればそのまま使用できます。)
- ❷ テザーフックが正しくテザーアンカーに固定されていること。
- ❸ 左右の ISOFIX コネクターが正しく汎用 ISOFIX 固定装置に固定され、ISOFIX コネクターのインジケーターが左右とも緑色になっていること。
- ❹ 本製品が、自動車の座席の背もたれ側にしっかりと押し付けられていること。
- ❺ 本製品と、自動車の座席の座面との間に、シートベルトなどの異物が挟まれていないこと。

⚠危険

本製品を取り付けて、トップテザーベルトの締め付けを行った後で、本製品を座席の背もたれ側に押し付ける操作(上図❹)を行わないこと。

本製品を背もたれ側に押し付ける操作を行うと、トップテザーベルトの締め付けがゆるみます。このような場合は、再度、【トップテザーの締め付け操作】を行ってください。

トップテザーのみで使用する場合

01

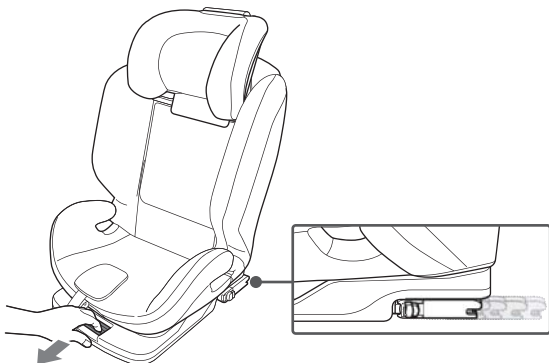
以下の項目を参照して、操作してください。

参照して操作してください

- ① P59 > 自動車の座席への取り付け > ISOFIX + トップテザーで使用する場合 > 01 (共通)
- ② P60 > 自動車の座席への取り付け > ISOFIX + トップテザーで使用する場合 > 03 (共通)

02

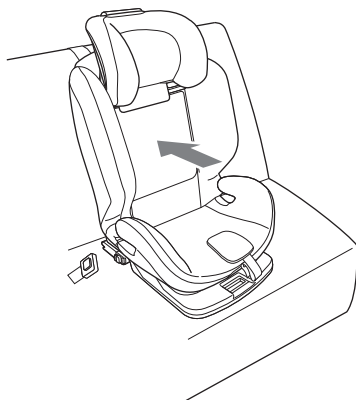
ISOFIX コネクターレバーを引いて、ISOFIX コネクターを本体内に格納 (引き込む) しておいてください。



💡ポイント ISOFIX を使用する場合は、この操作は行わないでください。

03

本製品を、使用する座席のシート座面中央に置いて、シート背もたれ側に本製品を押し付けます。



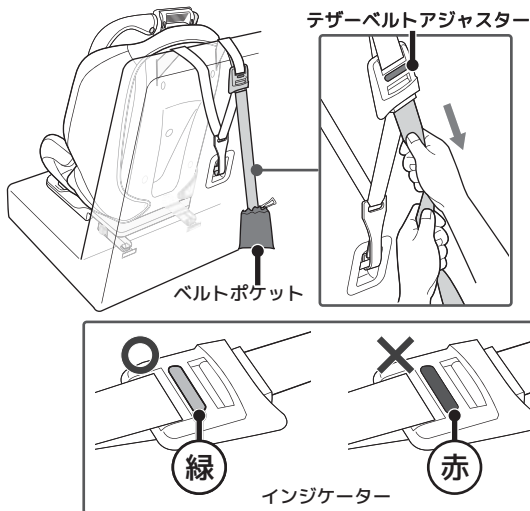
04

自動車のシート背もたれがリクライニング可能な場合には、あらかじめ本製品の背面（背もたれ）の角度に近い状態に調節しておきます。

05

【トップテザーの締め付け操作】を行います。

ベルトポケット側のトップテザーベルトを、強く引いて、トップテザーベルトを締め付けます。テザーベルトアジャスターのインジケーターに緑色が表示されるまで、締め付けてください。この際に、本製品の座面がシート座面から浮かないように注意してください。テザーベルトアジャスターから手を放しても、インジケーターが緑色のままになっていることを確認してください。



危険

テザーベルトアジャスターのインジケーターが完全に緑色になるまで、強くトップテザーベルトを締め付けてください。テザーフックが正しくテザーアンカー取り付けられ、正しくトップテザーベルトが締め付けられてないと、事故や衝撃を受けた際に本製品が所定の安全性能を発揮しなくなるおそれがあります。

💡ポイント テザーアンカーの位置は車種により異なります。自動車の取扱説明書を参照してください。

06

以下の項目を参照して、操作してください。

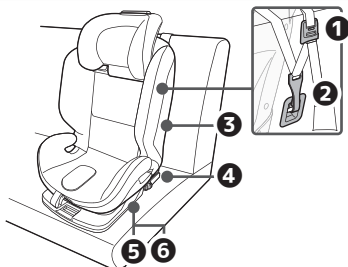
参照して操作してください

P64 > 自動車の座席への取り付け > ISOFIX + トップテザーで使用する場合 > 09 (共通)

07

以下を参照して、正しく取り付けできていることを確認します。正しくない部分がある場合、そのまま使用せず、取り付けなおしてください。

Check!!



- ❶ トップテザーベルトが強く締め付けられていて、テザーベルトアジャスターのインジケータが緑色になっていること。
- ❷ テザーフックが正しくテザーアンカーに固定されていること。
- ❸ 本製品が、自動車の座席の背もたれ側にしっかりと押し付けられていること。
- ❹ ISOFIX コネクターが本製品の本体内に格納されていること。
- ❺ 本製品と、自動車の座席の座面との間に、シートベルトなどの異物が挟まれていないこと。
- ❻ 本製品の座面部分が浮いていないこと。



危険

本製品を取り付けて、トップテザーベルトの締め付けを行った後で、本製品を座席の背もたれ側に押し付ける操作（上図❹）を行わないこと。

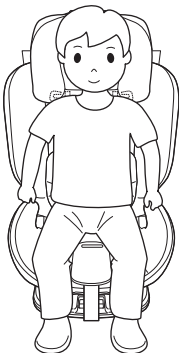
本製品を背もたれ側に押し付ける操作を行うと、トップテザーベルトの締め付けがゆるみます。このような場合は、再度、【トップテザーの締め付け操作】を行ってください。

シートベルトモードでのお子さまの乗せかた

ISOFIX + トップテザーで使用する場合でも、トップテザーのみで使用する場合でも、お子さまの乗せかたは共通です。お子さまは自動車の3点式シートベルトを装着します。

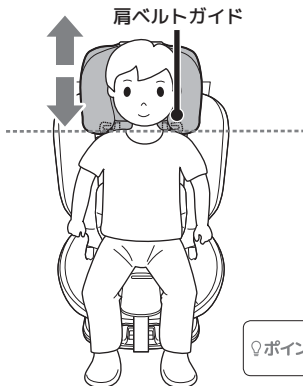
01

お子さまの背筋を伸ばし、楽な姿勢にして本製品に座らせませす。腰を深くして、本製品の中央に座らせてください。



02

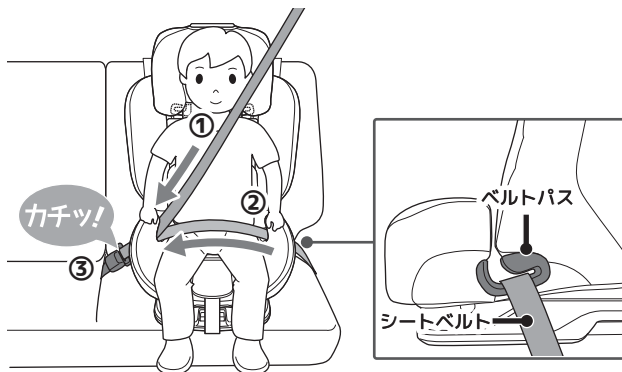
正面から見て、ヘッドレストの肩ベルトガイドがお子さまの肩の高さと水平の位置になるように、ヘッドレストの高さを調節します。



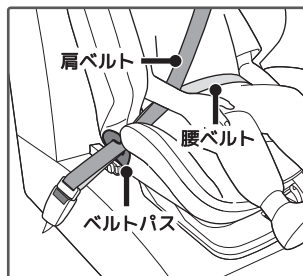
💡ポイント 肩ベルトガイドの高さは、3点式シートベルトを装着したのち、もう一度、確認、調節します。

03

シートベルトをねじらないように注意して、①受けバックル側のベルトパス（赤色の部分）に肩ベルトと腰ベルトを通し、②自動車のドア側のベルトパスに腰ベルトを通して、③シートベルトのバックルを留めます。

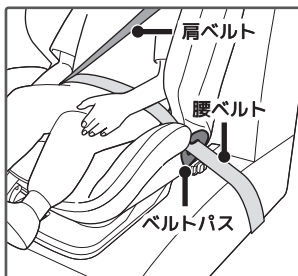


受けバックル側



シートベルトの肩ベルト、腰ベルトをベルトパスに通す

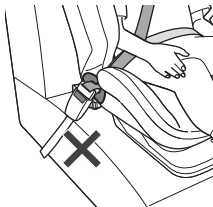
自動車のドア側



シートベルトの腰ベルトをベルトパスに通す

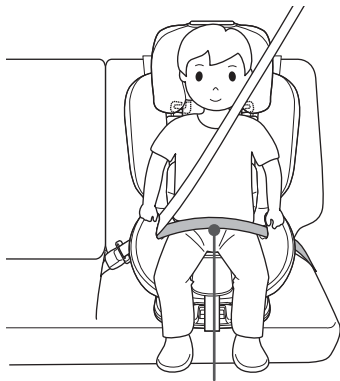
危険

受けパックルの位置が前過ぎたり高すぎる場合や、受けパックルのベルトが長いなどが原因で、シートベルトのバックルが本製品のベルトパスに干渉する場合は、その座席では使用しないでください。事故や衝撃を受けた際に、本製品が所定の安全性能を発揮することができません。たとえ、ISOFIX とトップテザーで固定したとしても、このような座席では絶対に使用しないでください。



04

腰ベルトが、お子さまの骨盤の上を通るように調整してください。



お子さまの骨盤の上を通すこと

警告

腰ベルトはお子さまの骨盤の上を通るようにしてください。腰ベルトが骨盤の上を通っていないと、事故や衝撃を受けた際に、お子さまの腹部が圧迫されたり、大腿部に過剰な衝撃が加わるおそれがあります。腰ベルトは、必ずお子さまの骨盤の上を通るように調整してください。

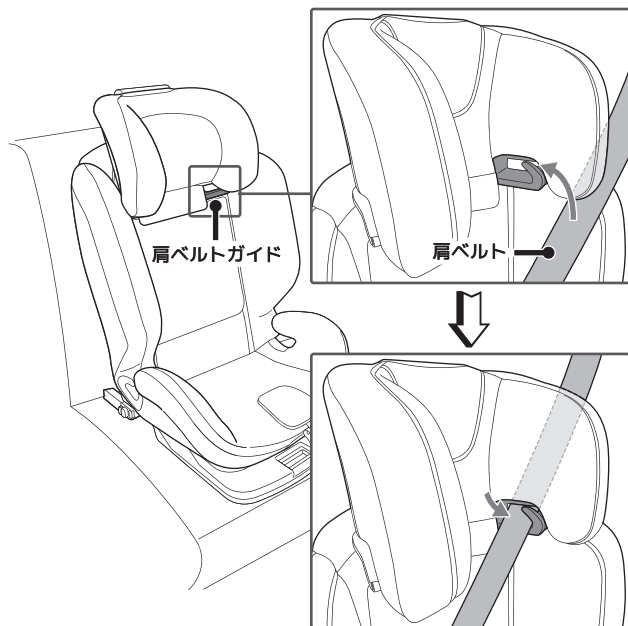
お子さまに、バックルに手を触れないよう言い聞かせてください。バックルが外れると事故につながるおそれがあります。普段からバックルには手を触れないように言い聞かせるようにしてください。

05

肩ベルトを、自動車のドア側の肩ベルトガイドに通します。

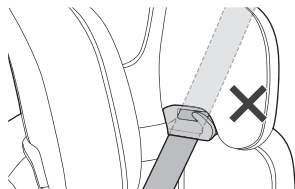
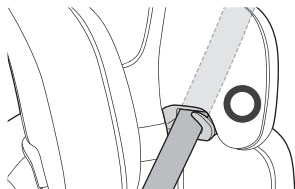
肩ベルトガイドの切り口に肩ベルトを差し入れて通してください。

肩ベルトをねじらないように注意して、下図を参照して通してください。



危険

肩ベルトを、正しく肩ベルトガイドに通してください。肩ベルトを、肩ベルトガイドの下側に通したり、肩ベルトガイド以外の場所に通すと、事故や衝撃を受けた際に、お子さまが飛び出すなどして思わぬ事故につながるおそれがあります。



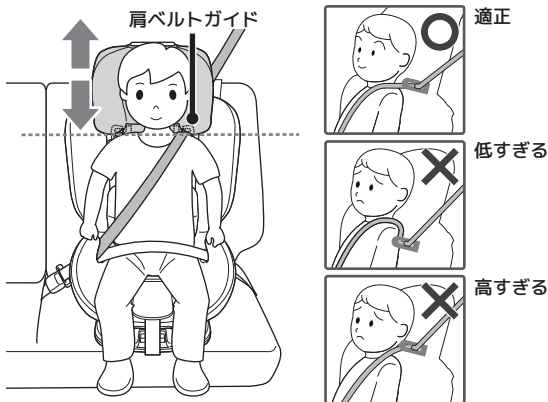
06

肩ベルトを肩ベルトガイドに通したら、肩ベルトの高さを調節します。

肩ベルトの高さが、お子さまの肩の高さと水平になるように調節します。肩ベルトガイドが低すぎたり、高すぎたりする状態では使用しないでください。

肩ベルトガイドの高さが不適切な場合は、再度、ヘッドレストの高さを調節し、肩ベルトガイドの位置を調節してください。

参照 P28 >ヘッドレスト・肩ベルトの高さ調節> 02



⚠ 危険 肩ベルトの高さが適正になっていないと、事故や衝撃を受けた際に肩ベルトが抜けたり、過度な圧力がお子さまに掛かるなどして大変に危険です。

07

お子さまを降ろす場合は、3点式シートベルトを外して、降ろします。

お子さまが自分で乗り降りできるようになってからも、大人の監視のもとで乗り降りさせるようにしてください。

ポイント お子さまは大人と違い、成長が早く体型も日々変化します。お子さまを乗せ降ろすたびに、肩ベルト（肩ベルトガイド）の高さが適切かどうか確認するようにして、適宜調節するようにしてください。

自動車の座席から取り外す

操作は、ハーネスを使用している場合と同様ですが、トップテザーのみで使用している場合は一部操作内容が異なります。それぞれ以下を参照して操作してください。

💡ポイント 参照する項目では、ハーネスを使用する場合での図示になっていますが、操作内容は同じです。

ISOFIX + トップテザーで使用する場合

01

以下を参照して操作してください。

参照して操作してください

P49-51 > 自動車の座席から取り外す > 01-06

トップテザーのみで使用する場合

01

以下の項目を参照して、操作してください。

参照して操作してください

P49 > 自動車の座席から取り外す > 01-02

02

本製品を自動車から出してください。

お手入れのしかた

本製品では、お手入れのため、シートのカバー、パッド類を取り外すことができます。
お手入れ後は、取り外したカバー、パッド類を必ず元に戻してください。

⚠ 危険

部品を取り外した状態で使用しないでください。チャイルドシートが所定の安全性能を発揮できなくなるおそれがあります。シートのカバーや、クッション類、なども本製品を構成する重要な部品ですので、絶対に取り外して使用しないでください。また、これらの部品を、指定外部品に交換したり、同梱されていないアクセサリや部品を取り付けて使用しないでください。

⚠ 警告

カバー類を外した状態の本製品は、お子さまの手の届かない場所に置いておいてください。お子さまが本製品の機構部に手や指を差し入れてケガをするおそれがあります。
お手入れ等のため、カバー類を外したら、取り付け直すまでの間は、お子さまの手の届かない場所で保管するようにしてください。

パッド・カバー類の取り外し

💡ポイント 自動車の座席に取り付けたまま作業はできません。

⚠ 注意

ゆっくりと作業してください。パッド、カバーなどが引っかった感じがする場合、無理をせず、引っかった場所がないか確認するようにしてください。また、カバーの下にある衝撃吸収材やウレタン等に傷をつけないように注意してください。

狭い場所に手指を入れて行う操作があります。ケガをしないように注意して作業してください。

01

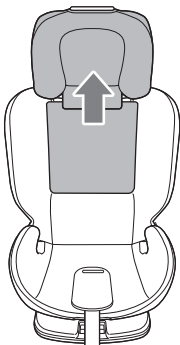
ハーネスモードでご使用いただいている場合のみ、以下の項目を参照して、操作してください。
ソフトパッド、肩ベルトパッド、腰ベルトパッド、股ベルトパッドを取り外します。

参照して操作してください

- ① P53-55 > ハーネスの格納 > 01-05
- ② P56 > ハーネスの格納 > 06 > ①②③ ※④ホックボタンの留め直しの必要はありません。
- ③ P58 > ハーネスの格納 > 09

02

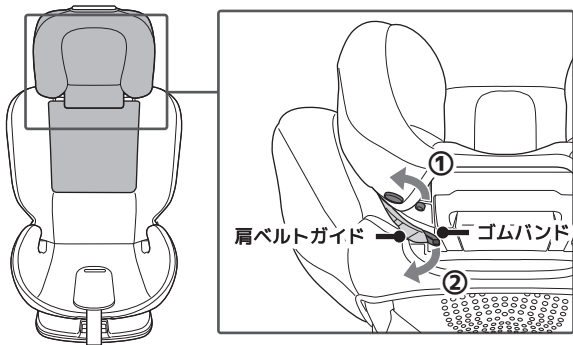
ヘッドレストを最も高い位置に調節します。



参照 P28 >ヘッドレスト・肩ベルトの高さ調節> 02

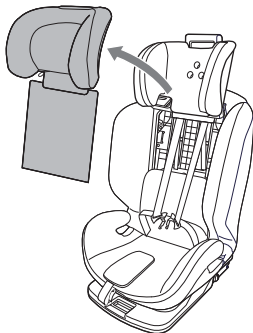
03

ヘッドレストの裏側上部の①左右のホックボタンを外し、②下部（肩ベルトガイド近く）左右の突起に掛けてある2本のゴムバンドを外します。ゴムバンドは左右それぞれ2本ずつ掛けてあります。合計4本のゴムバンドを外してください。



04

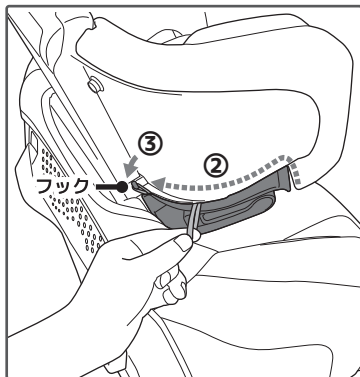
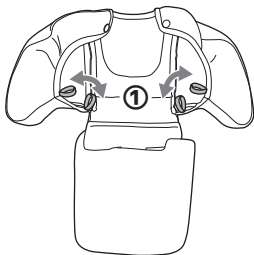
ヘッドレストのカバーを前方向にゆっくりと取り外します。03 で外したゴムを、肩ベルトガイドの上側のすき間から抜くようにしてください。



⚠ 注意 ヘッドレストのカバーはきつめに取り付けられています。ヘッドレスト内部のウレタン等の衝撃吸収材を傷つけないように注意してください。

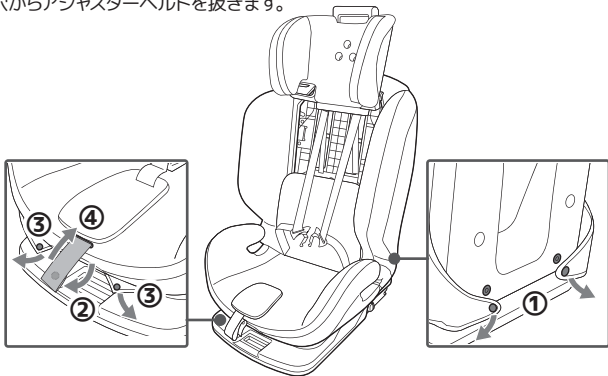
💡ポイント

ヘッドレストのカバーを取り付ける場合は、最初に左右それぞれ① 2つのゴムバンドを重ねて持って②肩ベルトパスとヘッドレスト部のすき間を重ねたまま通して、③フック（突起部）に2本のゴムバンドを掛けて留めます。左右とも同じようにしてください。次に、カバーをゆっくりとヘッドレストに被せます。



04

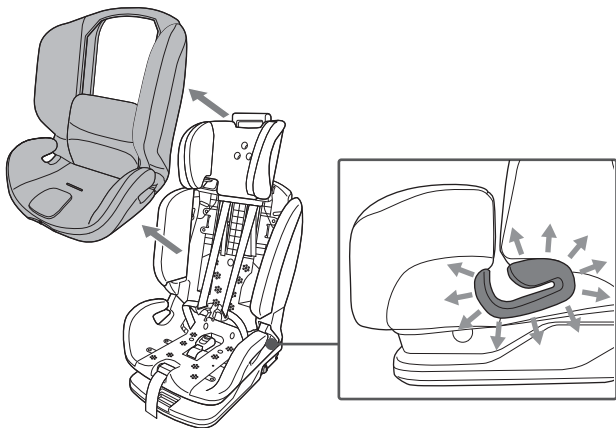
本製品の①背面下部のホックボタン（2カ所）を外し、②アジャスターベルトのホックボタンを外して、③シートのカバー前端の下側のホックボタン（2カ所）を外し、③シートカバーの通し穴からアジャスターベルトを抜きます。



05

ベルトパスの縁に沿って、たくし込まれているシートのカバーを外して、シートのカバーを本体からゆっくと取り外します。

💡ポイント ヘッドレストを下げておくとう作業がしやすくなります。



取り付けは逆の手順で行ってください。

パッド・カバー類のお手入れ

- ・ヘッドレストのカバー（背部フラップ）
- ・シートのカバー
- ・肩ベルトパッド
- ・股ベルトパッド
- ・腰ベルトパッド
- ・ソフトパッド

以下の表示に従って手洗いしてください。

ヘッドレストのカバーの背部フラップには、プラスチックのプレートが入っています。折り曲げないように注意してお手入れしてください。

- 30℃以下の水で手洗い可能
手洗いの上、軽く絞って、形を整え、陰干ししてください。
- 漂白剤は使用できません
劣化を早め、変退色の原因となります。
- 強く絞らないでください
型崩れ、変形の原因となります。
- アイロンは使用できません
破損、縮みの原因となります。
- タンブラー乾燥はできません
破損、縮みの原因となります。
- ドライクリーニングはできません
破損、縮みの原因となります。
- 有機溶剤、原液の中性洗剤を使用しないでください
ガソリン、シンナー、希釈剤などの有機溶剤は使用しないでください。汚れがひどい場合には、薄めた中性洗剤を使用してください。洗剤を使用した場合、水でよくすすぎ、洗剤を完全に落としてください。

⚠ 注意 指定外の方法で洗濯しないでください。指定外の方法でソフトパッド、カバー、パッド類を洗うと、破損、破れ、型崩れしたり、縮んだりするおそれがあります。

💡 ポイント 汚れがひどい場合には、薄めた中性洗剤を使用してください。洗剤を使用した場合、水でよくすすぎ、洗剤を完全に落としてください。

お手入れにより、色落ち、ゆがみ、多少の縮みが発生することがあります。あらかじめご了承ください。

樹脂・金属・ベルト類のお手入れ

それぞれ、以下に従ってお手入れしてください。

⚠ 警告 本製品本体、ヘッドレストに取り付けられている衝撃吸収材（発砲ウレタン）は取り外したり、破損させたりしないでください。また有機溶剤が付着すると溶解するおそれがありますので、本書の指示に従い、正しくお手入れしてください。

- 研磨剤、有機溶剤は使用しないでください
クレンザーなどの研磨剤の入った洗剤、ガソリン、シンナー、希釈剤などの有機溶剤は使用しないでください。
- 水、お湯、洗剤を直接本製品にかけないでください
劣化、サビ、異常動作の原因となります。
- 潤滑油、シリコンオイル等の油や潤滑剤は絶対に使用しないでください
外れ、すれ、固定部の思わぬ解除、動作異常の原因となり、本製品が所定の安全機能を発揮できなくなるおそれがあります。
- 市販のウエットタオル、ウエットティッシュは使用しないでください
含まれる成分によっては、樹脂部品に悪影響をおよぼすおそれがあります。

⚠ 危険 本製品の破損、変質のおそれがあるのみならず、本製品が所定の安全性能を発揮できなくなるおそれがあります。いかなる場合でも、潤滑油、シリコンオイル等の油や、それに類する潤滑剤を使用してはいけません。

⚠ 注意 さび、かび、劣化の原因となりますので、ソフトパッド、カバー類、パッド類は十分に乾かしてから本体に取り付けてください。また、本体を濡らしてしまった場合は、柔らかい布で水分をよくふき取り、十分に乾かしてからカバー類を取り付けてください。

ベルト類や、衝撃吸収材など、本書に指示のない部位、部品は、本体から取り外してはいけません。

樹脂部分・ベルト類

お湯または水につけて、きつく絞った柔らかい布で汚れを拭きとってください。洗剤類は使用しないでください。

金属部分

お湯または水につけて、きつく絞った柔らかい布で汚れを拭きとってください。
バックル、ISOFIX コネクター、テザーフックを除く金属部分に関して、食べかすなど油分を含む汚れを落とす場合には、薄めた中性洗剤を溶かした水につけ、良く絞った柔らかいタオルで汚れをふき取るようにしてお手入れしてください。中性洗剤を使用した場合、お手入れ後は洗剤をよくふき取ってください。

⚠ 注意 水を直接かけないでください。サビが発生し、本製品が正常に機能しなくなるおそれがありますので、水分を使用してお手入れした場合は、しっかりと乾燥させてください。

ISOFIX コネクター・テザーフックのお手入れ

表面の汚れは、お湯または水につけて、きつく絞った柔らかい布で汚れを拭きとってください。
洗剤類は使用しないでください。内部や、手の届かない場所のお手入れは、市販のエアダスターを使用するか、掃除機を使用してゴミやほこりを吸い取るようにしてください。

- 洗剤類、研磨剤、有機溶剤は使用しないでください
潤滑性のある洗剤、クレンザーなどの研磨剤の入った洗剤、ガソリン、シンナー、希釈剤などの有機溶剤は使用しないでください。
- 水、お湯、洗剤を直接にかけないでください
劣化、サビ、異常動作の原因となります。
- 潤滑油、シリコンオイル等の油や潤滑剤は絶対に使用しないでください
外れ、ずれ、固定部の思わぬ解除、動作異常の原因となり、本製品が所定の安全機能を発揮できなくなるおそれがあります。



ISOFIX コネクター、テザーフック、および自動車の ISO-FIX 固定バー、テザーアンカーは常に清潔を保つようにしてください。



危険 洗剤類や潤滑剤を絶対に使用しないでください。ISOFIX コネクター・テザーフックに潤滑剤、潤滑性のある物質が付着すると、大変に危険です。絶対に使用しないでください。

ハーネス・バックルのお手入れ

それぞれ、以下に従ってお手入れしてください。

- 洗剤類、研磨剤、有機溶剤は使用しないでください
潤滑性のある洗剤、クレンザーなどの研磨剤の入った洗剤、ガソリン、シンナー、希釈剤などの有機溶剤は使用しないでください。
- 水、お湯、洗剤を直接本製品にかけないでください
劣化、サビ、異常動作の原因となります。
- 潤滑油、シリコンオイル等の油や潤滑剤は絶対に使用しないでください
外れ、ずれ、固定部の思わぬ解除、動作異常の原因となり、本製品が所定の安全機能を発揮できなくなるおそれがあります。
- 市販のウェットタオル、ウェットティッシュは使用しないでください
含まれる成分によっては、樹脂部品に悪影響をおよぼすおそれがあります。

絶対に洗剤類や潤滑剤を使用しないでください。バックルが正しく機能しなくなるおそれがありますので、差込タンク、受けバックルのお手入れには、絶対に洗剤類や潤滑剤を使用しないでください。なにも混ぜていない水かお湯を使ってお手入れしてください。含まれる成分によっては、樹脂部分の劣化、変質の原因となりますので、市販のウェットタオル（ウェットティッシュ）や赤ちゃんのお尻ふきは使用しないでください。

⚠ 危険

バックルに異常がある場合は直ちに使用を中止してください。差込タンクを受けバックルに差しても「カチッ」と音がしない、バックルボタンが動かないなど、バックルに異常を発見した場合はただちに本製品の使用を中止して、本取扱説明書末尾に記載の弊社お客様サービスまでお問い合わせください。

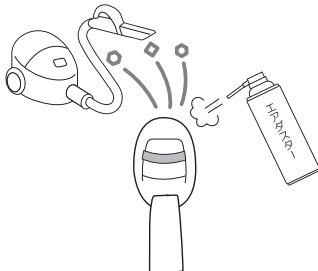
ハーネス

お湯または水につけて、きつく絞った柔らかい布で汚れを拭きとってください。洗剤類は使用しないでください。

バックル

お湯または水につけて、きつく絞った柔らかい布で拭いて汚れを拭きとってください。洗剤類は使用しないでください。

受けバックルの内側は、ご家庭の掃除機でゴミやほこりを吸い取るか、市販のエアダスターで中のゴミ、ほこりを吹き飛ばすようにしてください。



保管のしかた

長期間ご使用にならない場合は、本製品を座席から取り外し車外に出してください。

ほこりがバックル内に入らないよう、保管時もバックルは留めておくようにしてください。

ISO-FIX コネクターはシートベース内に格納しておいてください。

本製品の上に物を置いた状態にしないでください。

直射日光の当たらない、寒暖差の激しくない、湿気の少ない涼しい室内で保管してください。

雨風のあたる露天では保管しないでください。

廃棄のしかた

本製品を廃棄する際には、お住まいの自治体の指示に従い、正しく廃棄するようにしてください。

また、再利用による事故を防ぐため「廃棄品」と明示しシートを破るなどして、再利用を不可能な状態にして廃棄するようお願いいたします。

保証について

本製品の保証期間は、ご購入後1年間です。

本保証は、本製品の修理による修復を提供するものであり、製品の交換や返品を保証するものではありません。

修理にる保証の延長はいたしません。Nuna は、以前に製造された製品を更新する義務なく、製品の設計を改善する権利を有します。

保証期間内に本製品に不具合が発生した場合は、お買い求めになった販売店にご連絡いただくか、本書巻末に記載のお客サービスまでご連絡ください。

本製品のシートベース底面に表記されているモデル番号とシリアル番号を手元にお控えの上、ご連絡願います。

本製品に添付のユーザー登録ハガキをお使いいただき、製品の登録をお願いいたします。

(本製品に関するお問い合わせ先)

株式会社カトージ お客様サービス

電話：0568-67-5701 平日10~17時（土日祝日を除く）

www.katoji.co.jp

(Jolie日本総代理店)

株式会社カトージ 〒484-0894 愛知県犬山市羽黒北金屋39-2



Find out more at nuna.eu